

# 下市町国民健康保険 データヘルス計画

平成30年3月  
下市町



<b>第1章 計画策定について</b>		
1. 背景		4
2. 基本方針		4
3. データヘルス計画の位置づけ		5
4. 計画期間		5
<b>第2章 現状と課題把握</b>		
1. 保険者の特性把握		6
(1) 基本情報		6
(2) 医療費等の状況		7
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		8
① 特定健康診査		8
② 特定保健指導		9
③ 質問票の状況		10
(4) がん検診の状況		11
(5) 介護保険の状況		12
(6) 主たる死因の状況		16
2. 過去の取り組みの考察		18
3. 医療情報分析結果		19
(1) 基礎統計		19
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		20
① 高額レセプトの件数及び割合		20
② 高額レセプト発生患者の疾病割合		21
(3) 疾病別医療費		22
① 大分類による疾病別医療費統計		22
② 中分類による疾病別医療費統計		24
4. 保健事業実施に係る分析結果		31
(1) 特定健康診査に係る分析		31
(2) 特定保健指導に係る分析		33
(3) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		35
(4) 受診行動適正化に係る分析		39
(5) ジェネリック医薬品普及率に係る分析		42
(6) 服薬情報に係る分析		43
5. 分析結果に基づく健康課題の把握		45
(1) 分析結果		45
(2) 分析結果に基づく課題とその対策		47
<b>第3章 保健事業実施計画</b>		
1. 各事業の目的と概要一覧		49
2. 各事業の実施内容と評価方法		51
(1) 後発医薬品の普及促進		51
(2) 医薬品の重複・多剤投与対策		52
(3) 特定健康診査		53

	(4) 特定保健指導	54
	(5) 糖尿病等治療勧奨の推進	55
	(6) 糖尿病性腎症重症化予防対策	56
	(7) 慢性腎臓病重症化予防対策事業	57
	(8) 特定健康診査（集団健診）結果説明会	58
	(9) 運動教室	59
	(10) 訪問栄養指導	60
	(11) 生活習慣病予防教室（栄養教室）	61
<b>第4章 その他</b>		
	1. データヘルス計画の見直し	62
	(1) 評価	62
	(2) 評価時期	62
	2. 計画の公表・周知	62
	3. 事業運営上の留意事項	62
	4. 個人情報の保護	62
<b>巻末資料</b>		
	1. 用語解説集	
	2. 疾病分類表	

# 第1章 計画策定について

## 1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて下市町国民健康保険データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

※医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

※傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

※レセプト分析システムおよび分析方法  
(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

## 2. 基本方針

データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

### 3. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「なら健康長寿基本計画」及び「下市町健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

### 4. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度までの6年間とする。

#### ■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

#### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース (KDB) システムデータ  
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)  
年度分析  
平成24年度…平成24年4月～平成25年3月健診分(12カ月分)  
平成25年度…平成25年4月～平成26年3月健診分(12カ月分)  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

# 第2章 現状と課題把握

## 1. 保険者の特性把握

### (1) 基本情報

本町の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は42.8%であり、県との比較で1.45倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は1,702人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は30.9%である。

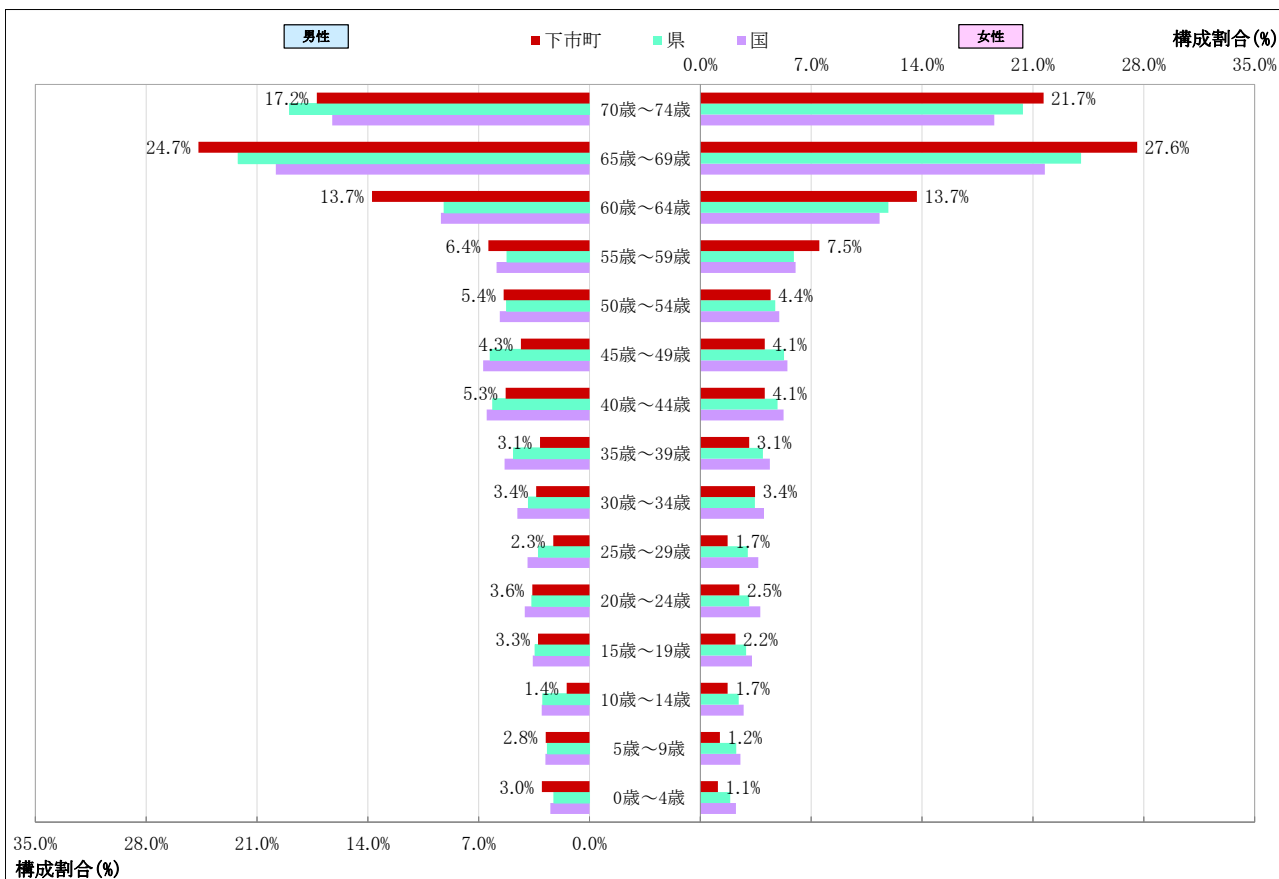
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保 被保険者数(人)	国保加入率	出生率	死亡率
下市町	5,500	42.8%	1,702	30.9%	2.9%	21.3%
県	1,356,950	29.5%	347,485	25.6%	7.0%	10.4%
国	125,020,252	27.6%	31,258,338	25.0%	7.8%	10.5%

※「県」は奈良県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:平成28年(2016)人口動態統計(確定数)の概況、平成28年奈良県推計人口年報、平成28年奈良県年齢別推計人口

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

## (2) 医療費等の状況

本町の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

### 医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	下市町	県	国
千人当たり			
病院数	0.0	0.2	0.3
診療所数	3.0	3.4	3.0
病床数	0.0	48.1	46.8
医師数	3.0	9.2	9.2
外来患者数	788.6	675.1	668.3
入院患者数	21.1	17.7	18.2
受診率	809.7	692.8	686.5
一件当たり医療費(円)	36,210	34,930	35,330
一般(円)	36,150	34,900	35,270
退職(円)	39,780	36,200	37,860
後期(円)	0	0	0
外来			
外来費用の割合	60.3%	60.3%	60.1%
外来受診率	788.6	675.1	668.3
一件当たり医療費(円)	22,410	21,600	21,820
一人当たり医療費(円)	17,680	14,580	14,580
一日当たり医療費(円)	15,260	14,080	13,910
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.6
入院			
入院費用の割合	39.7%	39.7%	39.9%
入院率	21.1	17.7	18.2
一件当たり医療費(円)	552,550	542,770	531,780
一人当たり医療費(円)	11,650	9,620	9,670
一日当たり医療費(円)	35,440	36,730	34,030
一件当たり在院日数	15.6	14.8	15.6

出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」



### (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ① 特定健康診査

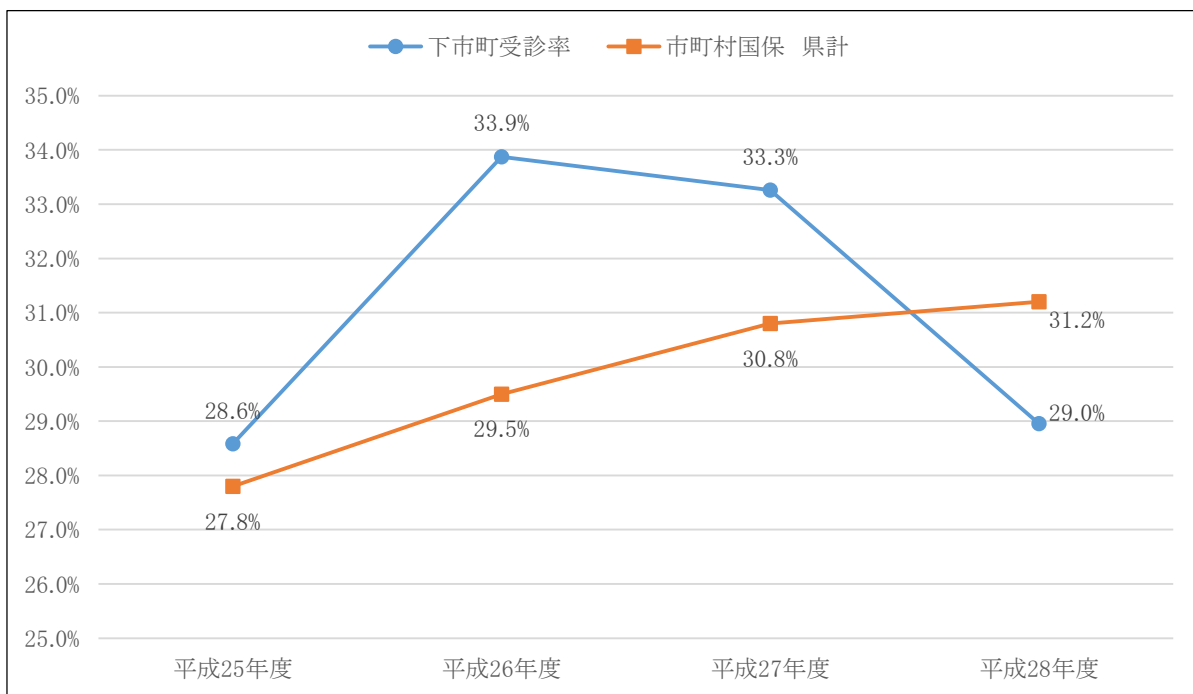
本町の平成25年度～平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の実施率を以下に示す。

#### 特定健康診査対象者数、受診者数及び実施率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
対象者数	1,361	1,361	1,308	1,233
受診者数	389	461	435	357
下市町実施率	28.6%	33.9%	33.3%	29.0%
市町村国保 県計	27.8%	29.5%	30.8%	31.2%

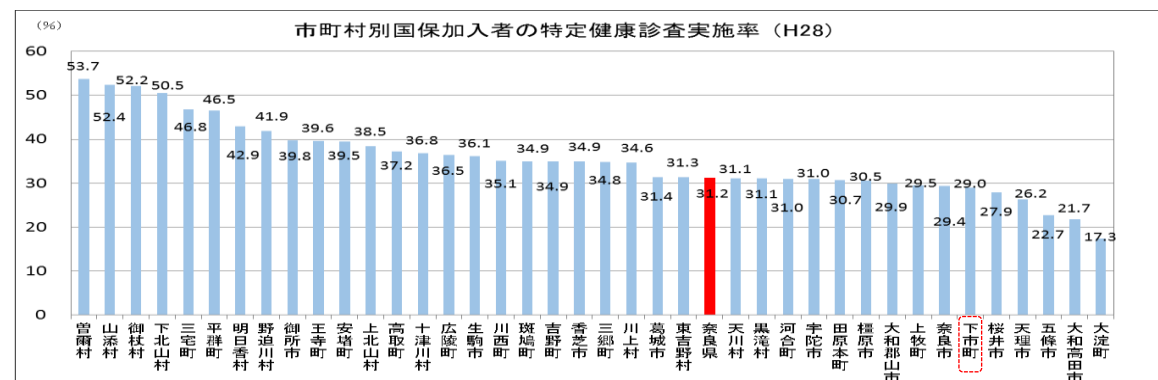
出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

#### 特定健康診査対象者数、受診者数及び受診率



出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

#### 市町村別国保加入者の特定健康診査実施率（平成28年度）



出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

## ②特定保健指導

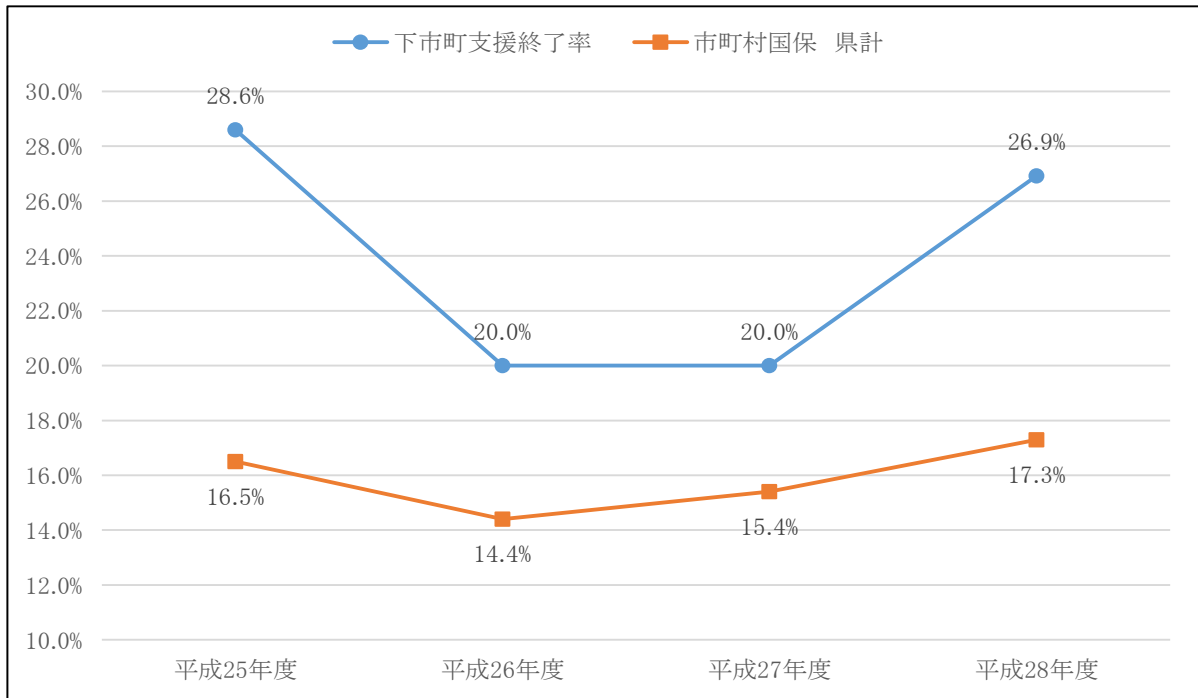
本町の平成25年～平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

### 特定保健指導実施状況

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
対象者数	35	50	40	26
終了者数	10	10	8	7
下市町実施率	28.6%	20.0%	20.0%	26.9%
市町村国保 県計	16.5%	14.4%	15.4%	17.3%

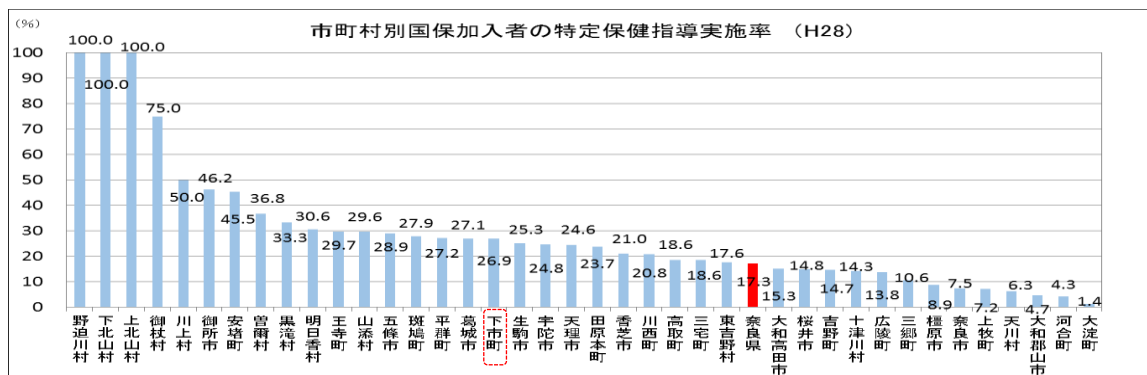
出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

### 特定健康診査対象者数、受診者数及び受診率



出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

### 市町村別国保加入者の特定健康診査実施率（平成28年度）



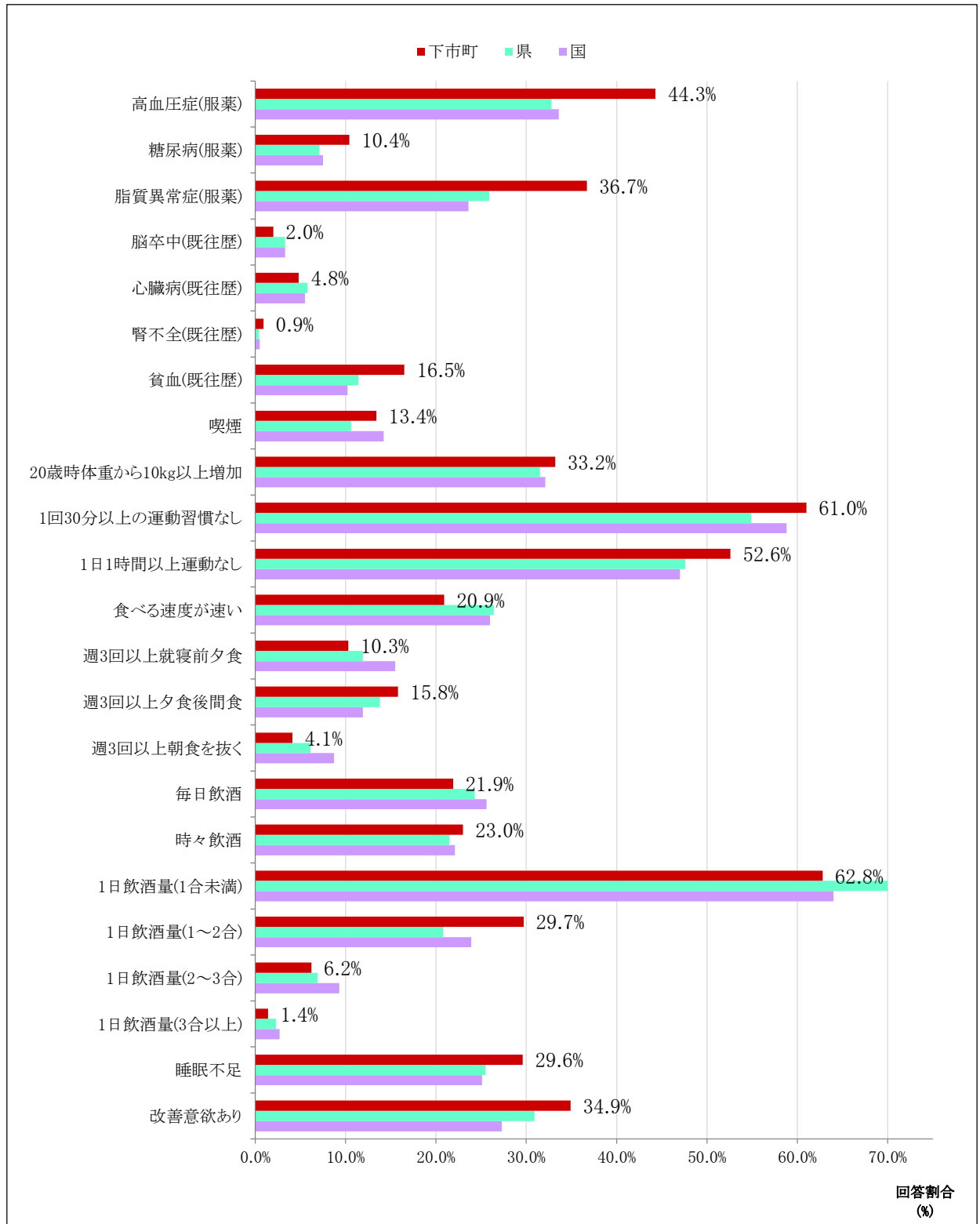
出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

### ③質問票の状況

本町の平成28年度における、質問上の状況を以下に示す。

高血圧44.3%、糖尿病10.4%、脂質異常症36.7%と県、国と比較して高くなっている。

#### 質問票の回答状況



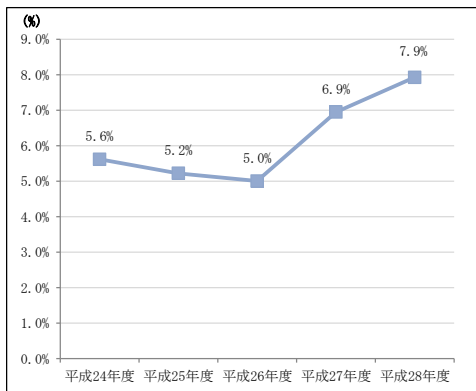
出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

## (4) がん検診の状況

本町のがん検診の状況を以下に示す。

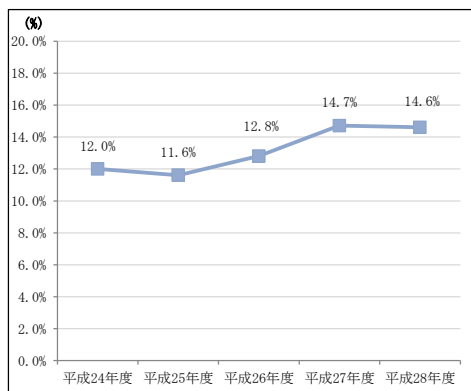
各がん検診ともに徐々に受診率が上がってきている。

### 胃がん検診受診率



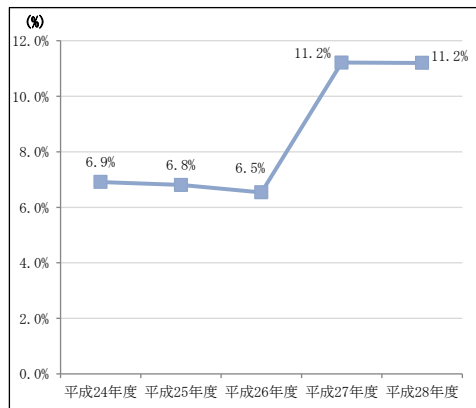
データ化範囲(分析対象)…胃がん検診データは平成24年4月～平成29年3月検診分(60カ月分)。  
対象者…各年度末時点で40歳以上の者。

### 大腸がん検診受診率



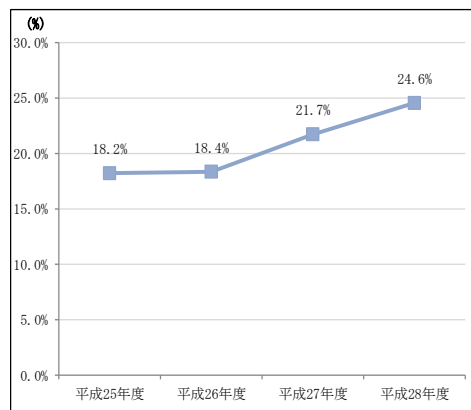
データ化範囲(分析対象)…大腸がん検診データは平成24年4月～平成29年3月検診分(60カ月分)。  
対象者…各年度末時点で40歳以上の者。

### 肺がん検診受診率



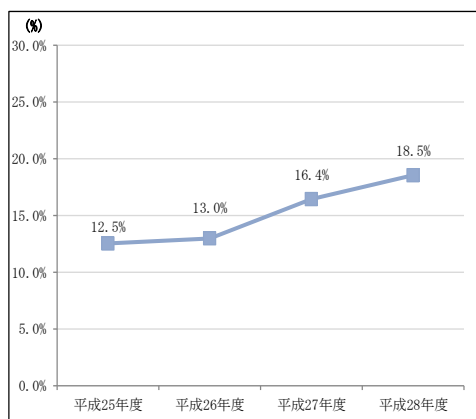
データ化範囲(分析対象)…肺がん検診データは平成24年4月～平成29年3月検診分(60カ月分)。  
対象者…各年度末時点で40歳以上の者。

### 乳がん検診受診率



データ化範囲(分析対象)…乳がん検診データは平成24年4月～平成29年3月検診分(60カ月分)。  
対象者…各年度末時点で40歳以上の女性。

### 子宮がん検診受診率



データ化範囲(分析対象)…子宮がん検診データは平成24年4月～平成29年3月検診分(60カ月分)。  
対象者…各年度末時点で20歳以上の女性。

## (5) 介護保険の状況

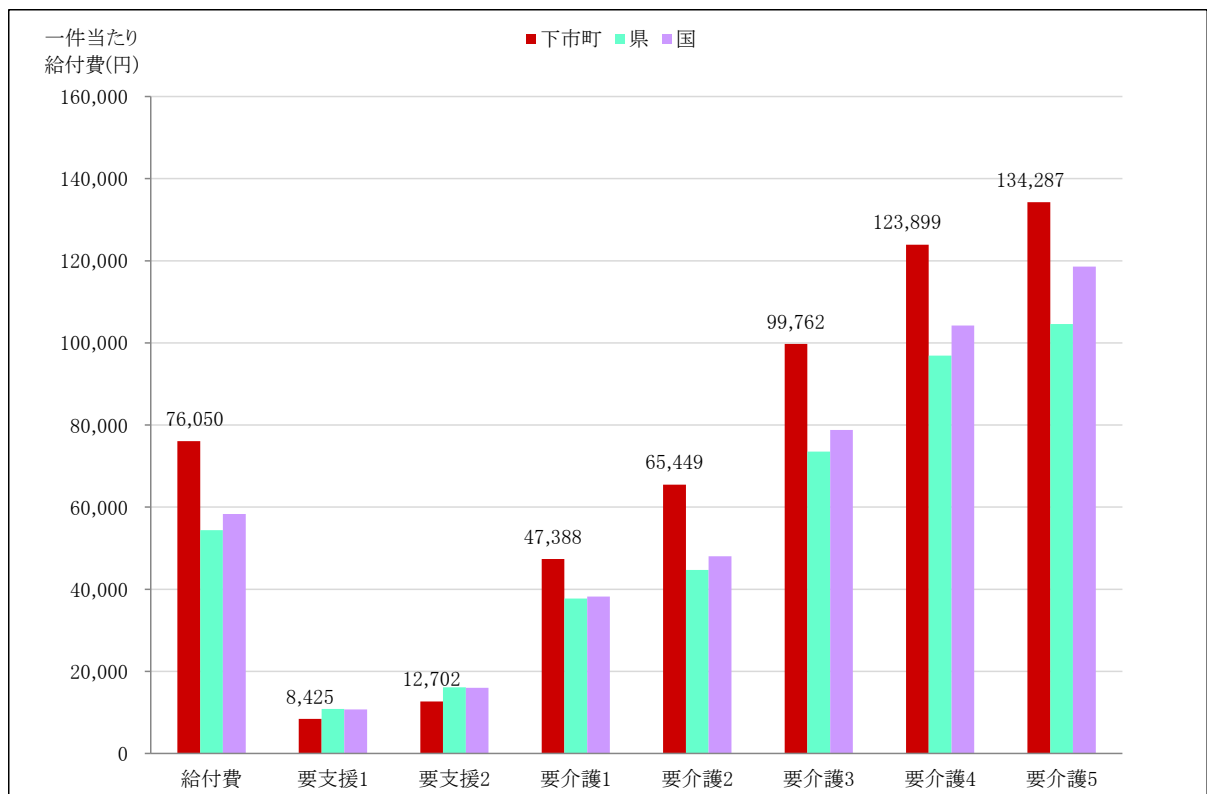
本町の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

### 認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	下市町	県	国
認定率	<b>21.5%</b>	21.4%	21.2%
認定者数(人)	<b>545</b>	73,591	6,034,085
第1号(65歳以上)	<b>538</b>	71,946	5,882,340
第2号(40～64歳)	<b>7</b>	1,645	151,745
一件当たり給付費(円)			
給付費	<b>76,050</b>	54,416	58,349
要支援1	<b>8,425</b>	10,853	10,730
要支援2	<b>12,702</b>	16,114	15,996
要介護1	<b>47,388</b>	37,740	38,200
要介護2	<b>65,449</b>	44,722	48,047
要介護3	<b>99,762</b>	73,562	78,791
要介護4	<b>123,899</b>	96,884	104,264
要介護5	<b>134,287</b>	104,578	118,599

出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

### 一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

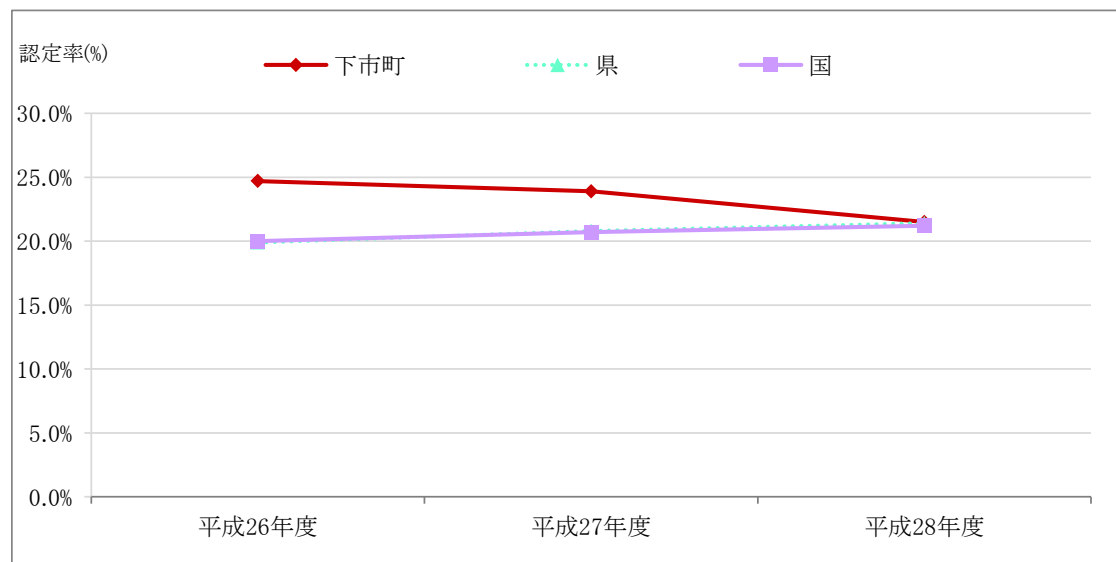
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率21.5%は平成26年度24.7%より3.2ポイント低下しており、平成28年度の認定者数545人は平成26年度624人より79人減少している。

### 年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
下市町	平成26年度	24.7%	624	613	11
	平成27年度	23.9%	603	595	8
	平成28年度	21.5%	545	538	7
県	平成26年度	19.9%	69,287	67,591	1,696
	平成27年度	20.8%	71,638	69,939	1,699
	平成28年度	21.4%	73,591	71,946	1,645
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

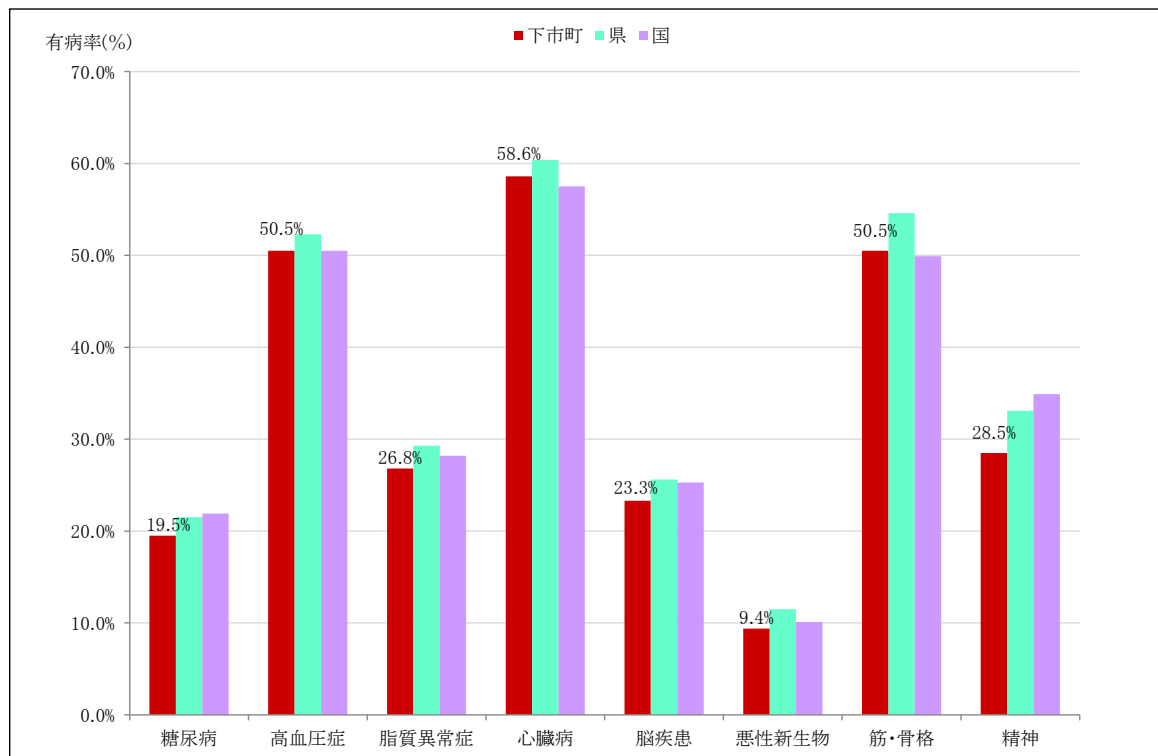
本町の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると1,473人となり、認定者は平均2.7疾病を有していることがわかる。

認定者の疾病別有病状況(平成28年度) ※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	下市町	順位	県	順位	国	順位
認定者数(人)	545		73,591		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	108	16,118	7	1,343,240	7
	有病率	19.5%	21.5%		21.9%	
高血圧症	実人数(人)	280	39,093	3	3,085,109	2
	有病率	50.5%	52.3%		50.5%	
脂質異常症	実人数(人)	147	22,079	5	1,733,323	5
	有病率	26.8%	29.3%		28.2%	
心臓病	実人数(人)	317	44,980	1	3,511,354	1
	有病率	58.6%	60.4%		57.5%	
脳疾患	実人数(人)	128	18,913	6	1,530,506	6
	有病率	23.3%	25.6%		25.3%	
悪性新生物	実人数(人)	61	8,701	8	629,053	8
	有病率	9.4%	11.5%		10.1%	
筋・骨格	実人数(人)	278	40,736	2	3,051,816	3
	有病率	50.5%	54.6%		49.9%	
精神	実人数(人)	154	24,750	4	2,141,880	4
	有病率	28.5%	33.1%		34.9%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.7疾病は平成26年度2.9疾病より減少している。

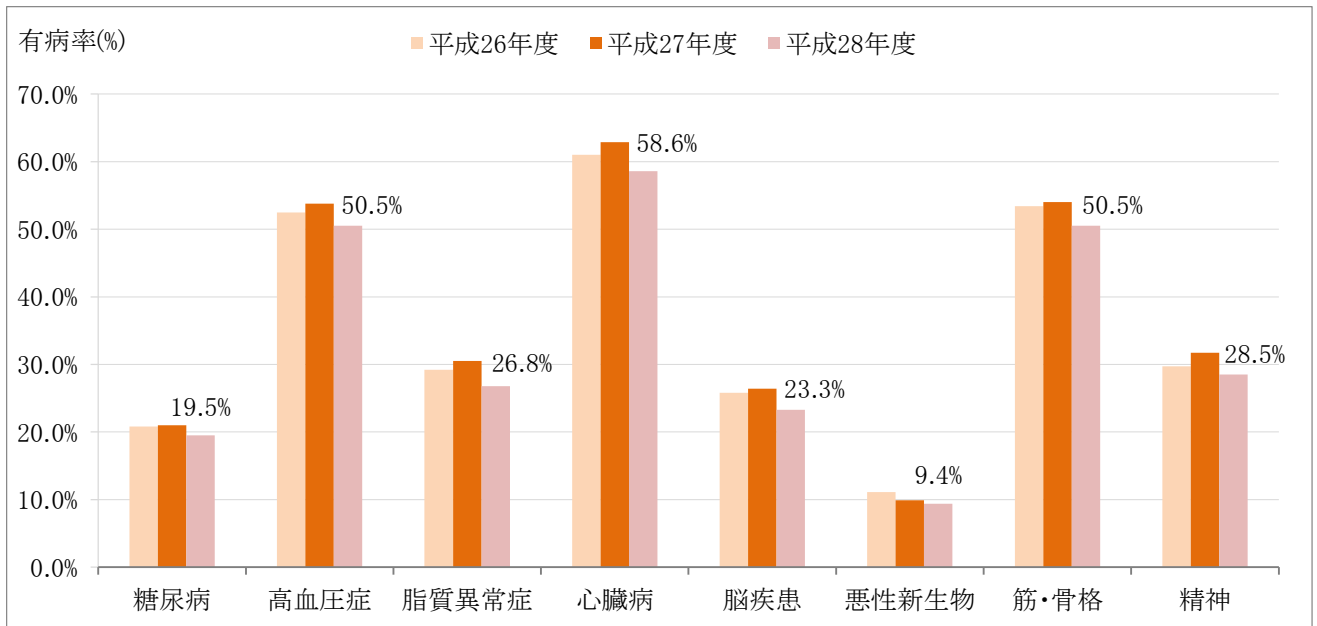
### 年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	下市町						県			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	624		603		545		69,287	71,638	73,591	5,324,880	5,751,982	6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	126	7	134	7	108	7	14,742	15,546	16,118	1,089,285	1,241,024	1,343,240
	有病率(%)	20.8%		21.0%		19.5%		21.0%	21.2%	21.5%	20.3%	21.4%	21.9%
高血圧症	実人数(人)	332	3	330	3	280	2	36,072	37,814	39,093	2,551,660	2,865,466	3,085,109
	有病率(%)	52.5%		53.8%		50.5%		51.6%	52.0%	52.3%	47.9%	49.7%	50.5%
脂質異常症	実人数(人)	179	5	191	5	147	5	19,566	21,015	22,079	1,386,541	1,586,963	1,733,323
	有病率(%)	29.2%		30.5%		26.8%		27.7%	28.6%	29.3%	25.7%	27.3%	28.2%
心臓病	実人数(人)	387	1	390	1	317	1	41,844	43,693	44,980	2,914,608	3,261,576	3,511,354
	有病率(%)	61.0%		62.9%		58.6%		60.1%	60.2%	60.4%	54.8%	56.7%	57.5%
脳疾患	実人数(人)	170	6	164	6	128	6	18,734	18,936	18,913	1,324,669	1,455,985	1,530,506
	有病率(%)	25.8%		26.4%		23.3%		27.1%	26.3%	25.6%	25.2%	25.4%	25.3%
悪性新生物	実人数(人)	68	8	65	8	61	8	7,965	8,346	8,701	493,808	569,967	629,053
	有病率(%)	11.1%		9.9%		9.4%		11.3%	11.4%	11.5%	9.2%	9.8%	10.1%
筋・骨格	実人数(人)	338	2	333	2	278	3	37,630	39,420	40,736	2,505,146	2,813,795	3,051,816
	有病率(%)	53.4%		54.0%		50.5%		54.0%	54.3%	54.6%	47.1%	48.9%	49.9%
精神	実人数(人)	189	4	207	4	154	4	22,712	23,895	24,750	1,720,172	1,963,213	2,141,880
	有病率(%)	29.7%		31.7%		28.5%		32.5%	32.8%	33.1%	32.2%	33.8%	34.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



## (6) 主たる死因の状況

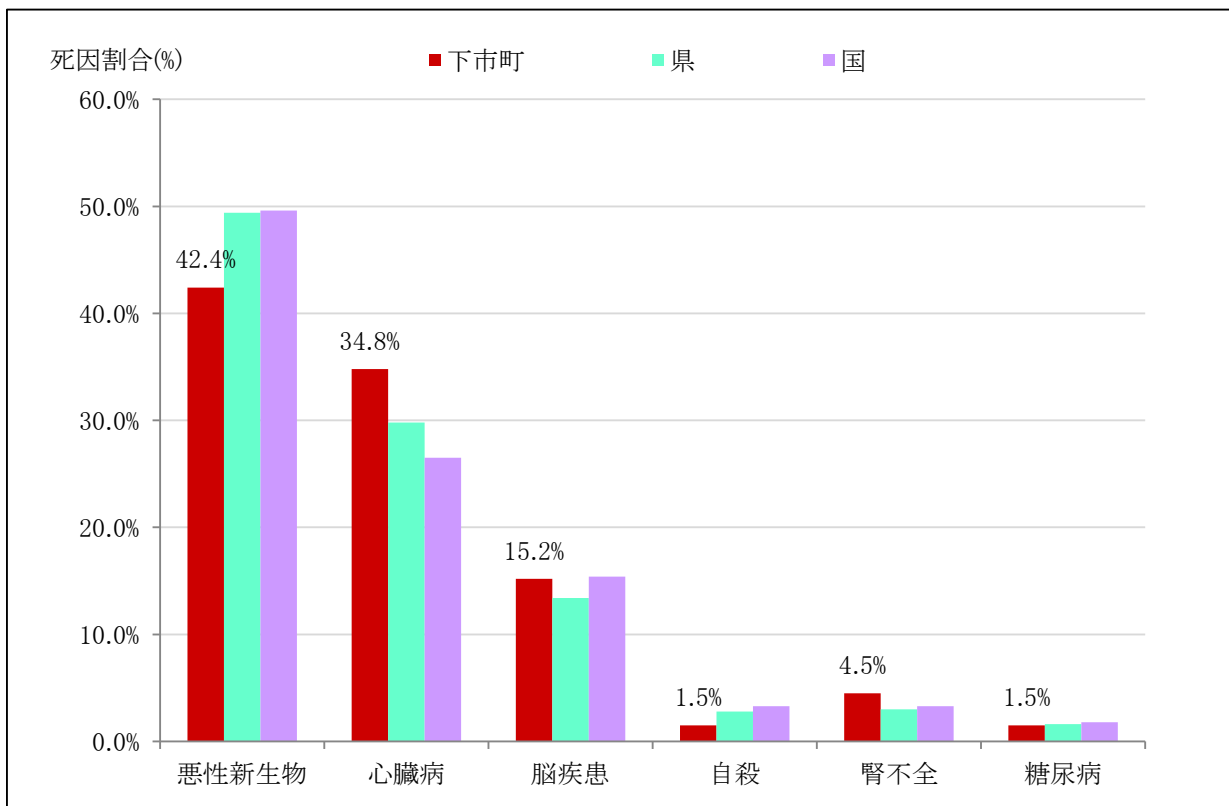
本町の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

### 主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	下市町		県	国
	人数(人)	割合(%)		
悪性新生物	28	42.4%	49.4%	49.6%
心臓病	23	34.8%	29.8%	26.5%
脳疾患	10	15.2%	13.4%	15.4%
自殺	1	1.5%	2.8%	3.3%
腎不全	3	4.5%	3.0%	3.3%
糖尿病	1	1.5%	1.6%	1.8%
合計	66			

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

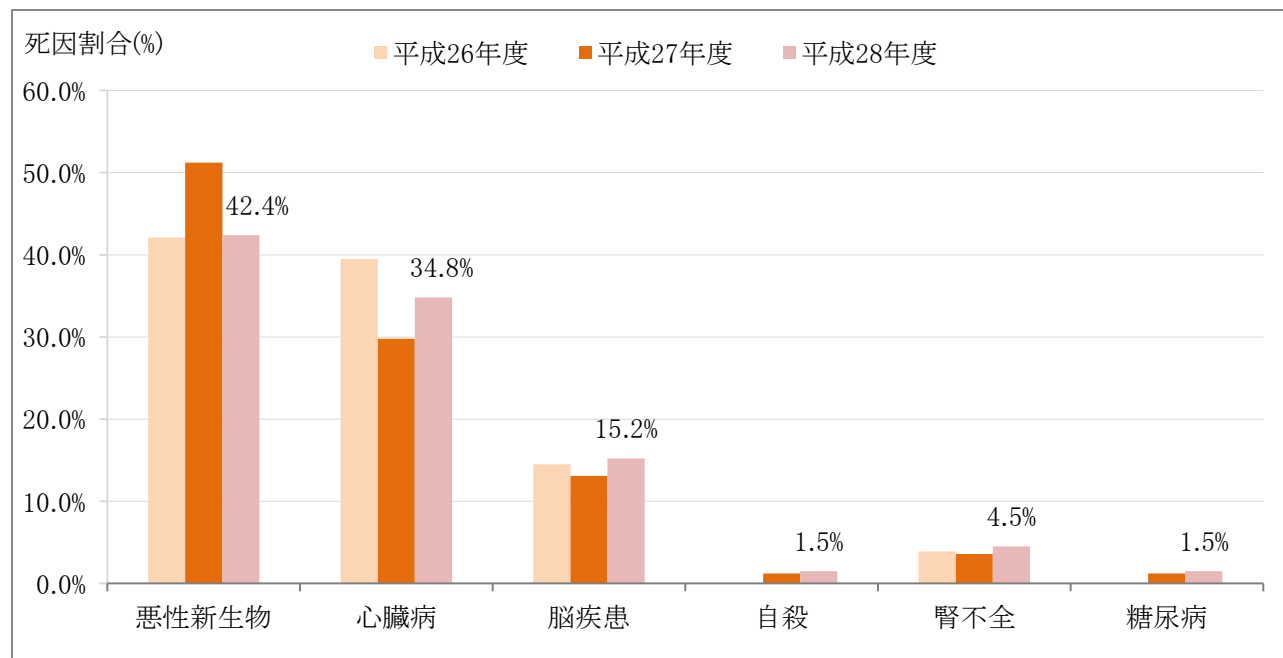
本町の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数28人は平成26年度32人より4人減少しており、心臓病を死因とする人数23人は平成26年度30人より7人減少している。また、脳疾患を死因とする人数10人は平成26年度11人より1人減少している。

### 年度別 主たる死因の状況

疾病項目	下市町						県			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度						
悪性新生物	32	43	28	42.1%	51.2%	42.4%	48.3%	48.7%	49.4%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	30	25	23	39.5%	29.8%	34.8%	30.0%	29.9%	29.8%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	11	11	10	14.5%	13.1%	15.2%	13.9%	13.9%	13.4%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	0	1	1	0.0%	1.2%	1.5%	2.9%	2.9%	2.8%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	3	3	3	3.9%	3.6%	4.5%	3.2%	3.0%	3.0%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	0	1	1	0.0%	1.2%	1.5%	1.7%	1.6%	1.6%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	76	84	66									

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 2. 過去の取り組みの考察

過去の保健事業の取り組み状況を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査事業	メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防	40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施
特定保健指導事業	内臓脂肪型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣の改善を図り、糖尿病等の生活習慣病該当者及び予備群の減少を図る	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を行う
特定健康診査未受診者勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査未受診者に対して特定健康診査の受診を促す
特定健康診査未受診者電話勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査未受診者に対して専門職による電話での受診を促す
特定健康診査(集団健診)結果説明会	生活習慣の改善	特定健康診査の結果を個別面談にて説明し、栄養士による食事相談を合わせて実施する
糖尿病等治療勧奨推進事業	糖尿病等の重症化予防	特定健康診査質問票と特定健康診査結果に基づき、一定の要件を満たした「重症未治療者」(対象者)を抽出し、治療勧奨カード(レッドカード)を送付し、早期治療勧奨を行う
慢性腎臓病重症化予防対策事業	慢性腎臓病の重症化予防	特定健康診査の結果より、「eGFR40～49」の者に対し、医療機関への受診を勧奨する
運動教室	健康的な運動習慣を身につけ健康の保持・増進ならびに生活習慣病の予防や重症化予防を図る	ウォーキングを行うことで、健康的な運動習慣を身につけ健康の保持・増進ならびに生活習慣病の予防や重症化予防を図る
訪問栄養指導	生活習慣の改善	特定保健指導を継続していく中で特に栄養指導が必要な方に対して訪問による指導を行う
生活習慣病予防教室(栄養教室)	生活習慣の改善	管理栄養士による栄養教室を行い、健康的な食生活習慣を身につけ、健康の保持・増進ならびに生活習慣病の予防や重症化予防を図る

### 3. 医療情報分析結果

#### (1) 基礎統計

当医療費統計は、下市町国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均1,690人、レセプト件数は平均1,913件、患者数は平均957人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均51,069円となった。

#### 基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	1,732	1,737	1,738	1,723	1,706	1,694	1,681	
B	レセプト件数(件)	入院外	1,301	1,342	1,387	1,356	1,367	1,302	1,361
		入院	37	30	36	37	30	41	34
		調剤	518	520	591	550	560	532	539
		合計	1,856	1,892	2,014	1,943	1,957	1,875	1,934
C	医療費(円) ※	49,734,840	46,429,470	48,612,530	50,229,190	45,393,970	48,551,280	50,256,320	
D	患者数(人) ※	951	966	985	976	963	947	966	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	28,715	26,730	27,970	29,152	26,608	28,661	29,897	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	26,797	24,540	24,137	25,851	23,196	25,894	25,986	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	52,297	48,064	49,353	51,464	47,138	51,269	52,025	
B/A	受診率(%)	107.2%	108.9%	115.9%	112.8%	114.7%	110.7%	115.1%	
D/A	有病率(%)	54.9%	55.6%	56.7%	56.6%	56.4%	55.9%	57.5%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	1,670	1,657	1,656	1,641	1,649	1,690		
B	レセプト件数(件)	入院外	1,327	1,375	1,255	1,325	1,352	1,338	16,050
		入院	34	39	29	34	36	35	417
		調剤	512	557	511	540	553	540	6,483
		合計	1,873	1,971	1,795	1,899	1,941	1,913	22,950
C	医療費(円) ※	45,529,440	54,164,810	46,077,660	48,205,750	53,393,390	48,881,554	586,578,650	
D	患者数(人) ※	948	967	912	959	946	957	11,486	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	27,263	32,688	27,825	29,376	32,379	28,918		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,308	27,481	25,670	25,385	27,508	25,559		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	48,027	56,013	50,524	50,267	56,441	51,069		
B/A	受診率(%)	112.2%	118.9%	108.4%	115.7%	117.7%	113.1%		
D/A	有病率(%)	56.8%	58.4%	55.1%	58.4%	57.4%	56.6%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

## (2) 高額レセプトの件数及び医療費

### ① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは165件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は1億7,033万円となり、医療費全体の29.0%を占める。

### 高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	1,856	1,892	2,014	1,943	1,957	1,875	1,934
B	高額レセプト件数(件)	14	13	11	11	8	17	14
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.7%	0.5%	0.6%	0.4%	0.9%	0.7%
C	医療費(円) ※	49,734,840	46,429,470	48,612,530	50,229,190	45,393,970	48,551,280	50,256,320
D	高額レセプトの医療費(円) ※	14,026,300	13,721,490	11,616,080	13,799,970	10,161,120	13,478,320	15,550,440
E	その他レセプトの医療費(円) ※	35,708,540	32,707,980	36,996,450	36,429,220	35,232,850	35,072,960	34,705,880
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.2%	29.6%	23.9%	27.5%	22.4%	27.8%	30.9%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	1,873	1,971	1,795	1,899	1,941	1,913	22,950
B	高額レセプト件数(件)	15	20	13	12	17	14	165
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	1.0%	0.7%	0.6%	0.9%	0.7%	
C	医療費(円) ※	45,529,440	54,164,810	46,077,660	48,205,750	53,393,390	48,881,554	586,578,650
D	高額レセプトの医療費(円) ※	12,718,960	20,035,660	13,434,570	13,265,870	18,522,180	14,194,247	170,330,960
E	その他レセプトの医療費(円) ※	32,810,480	34,129,150	32,643,090	34,939,880	34,871,210	34,687,308	416,247,690
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.9%	37.0%	29.2%	27.5%	34.7%	29.0%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「腎不全」「くも膜下出血」「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」等となった。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者一人当たりの医療費(円) ※
1	1402	腎不全	慢性腎不全	6,179,163
2	0904	くも膜下出血	脳動脈瘤破裂	5,978,450
3	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺腺癌	5,963,678
4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	5,931,250
5	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	神経症抑うつ状態	5,521,130
6	0902	虚血性心疾患	急性心筋梗塞, 急性心筋梗塞後心室中隔穿孔, 労作性狭心症	5,087,780
7	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	人工股関節置換術後	4,671,610
8	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	環軸関節亜脱臼, 腰椎陳旧性圧迫骨折	4,267,355
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	特発性器質化肺炎, 放射線肺炎	4,243,455
10	1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ, 関節リウマチ性間質性肺炎	4,143,125
11	1307	その他の脊柱障害	腰椎変性すべり症	4,081,340
12	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎	3,888,600
13	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	3,556,904
14	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃幽門部癌, 胃癌, 胃体部癌	3,392,003
15	0905	脳内出血	被殻出血	3,255,760
16	0908	その他の脳血管疾患	中大脳動脈瘤	3,234,270
17	0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	3,126,070
18	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	骨髄異形成症候群, 非機能性下垂体腺腫, 子宮筋腫	2,343,997
19	1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	常染色体優性多発性のう胞腎	2,299,290
20	0208	悪性リンパ腫	濾胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫	2,255,070

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

### (3) 疾病別医療費

#### ①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の16.9%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の12.1%と高い割合を占めている。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	19,526,274	3.3%	12	1,793	12	491	9	39,768	14
II. 新生物<腫瘍>	70,679,297	12.1%	2	2,545	7	655	6	107,907	5
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,970,037	0.7%	15	650	15	193	14	20,570	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	59,475,924	10.2%	4	8,635	2	862	2	68,998	11
V. 精神及び行動の障害	48,478,260	8.3%	6	1,923	11	188	15	257,863	1
VI. 神経系の疾患	26,470,517	4.5%	9	3,728	6	370	12	71,542	9
VII. 眼及び付属器の疾患	23,154,901	4.0%	10	2,150	9	546	7	42,408	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,529,164	0.3%	19	459	16	154	16	9,930	20
IX. 循環器系の疾患	99,250,073	16.9%	1	9,004	1	858	3	115,676	4
X. 呼吸器系の疾患	29,931,408	5.1%	8	3,941	5	844	4	35,464	15
X I. 消化器系の疾患 ※	50,686,884	8.7%	5	8,267	3	926	1	54,737	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,529,627	1.5%	13	2,104	10	496	8	17,197	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	66,034,860	11.3%	3	6,249	4	765	5	86,320	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	41,215,699	7.0%	7	2,425	8	409	11	100,772	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,092,212	0.4%	18	24	20	11	20	190,201	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	939,902	0.2%	20	5	21	4	21	234,976	2
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,192,605	0.5%	16	129	19	32	19	99,769	7
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,462,911	0.9%	14	1,761	13	442	10	12,360	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	21,767,075	3.7%	11	1,024	14	315	13	69,102	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,176,056	0.5%	17	459	16	98	17	32,409	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	369,324	0.1%	21	153	18	46	18	8,029	21
合計	585,933,010			22,858		1,558		376,080	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

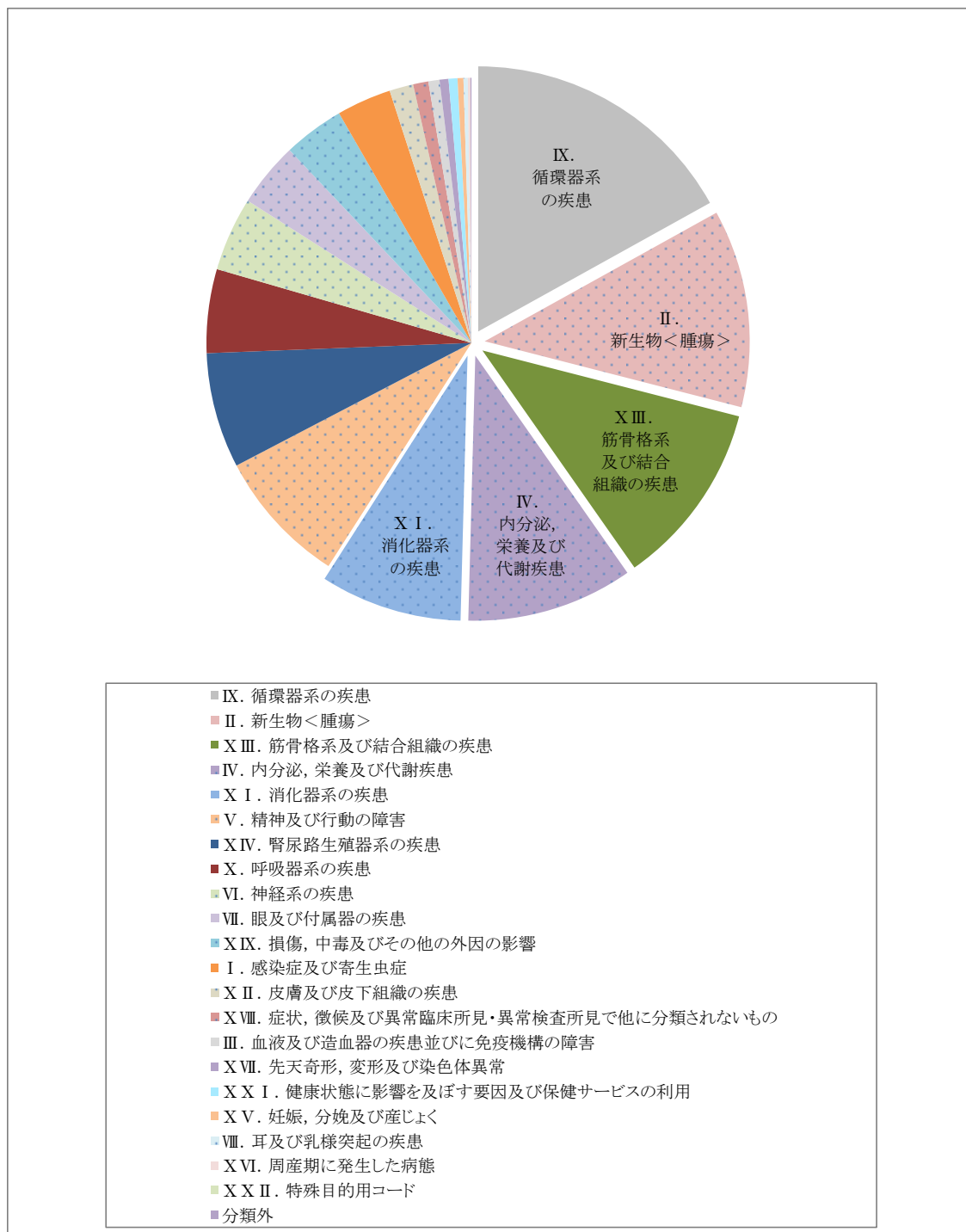
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「消化器系の疾患」の医療費で高い割合を占める。

## 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。



## ②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	35,284,209	6.0%	680
2	0402 糖尿病	30,762,664	5.3%	505
3	1302 関節症	28,908,894	4.9%	272
4	1113 その他の消化器系の疾患	26,022,846	4.4%	579
5	1402 腎不全	25,986,123	4.4%	37
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	25,967,588	4.4%	43
7	0903 その他の心疾患	22,374,867	3.8%	383
8	0403 脂質異常症	21,751,165	3.7%	552
9	0902 虚血性心疾患	19,523,642	3.3%	186
10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	19,175,196	3.3%	119

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	35,284,209	680	43.6%
2	1113 その他の消化器系の疾患	26,022,846	579	37.2%
3	0403 脂質異常症	21,751,165	552	35.4%
4	0402 糖尿病	30,762,664	505	32.4%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	7,437,944	504	32.3%
6	0703 屈折及び調節の障害	2,264,570	474	30.4%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,462,911	442	28.4%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	16,249,740	409	26.3%
9	1006 アレルギー性鼻炎	4,343,849	388	24.9%
10	0903 その他の心疾患	22,374,867	383	24.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,401,005	5	1,280,201
2	0904 くも膜下出血	5,572,248	5	1,114,450
3	1402 腎不全	25,986,123	37	702,328
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	25,967,588	43	603,897
5	1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	2,043,728	6	340,621
6	0208 悪性リンパ腫	4,796,392	15	319,759
7	1701 心臓の先天奇形	1,186,681	5	237,336
8	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	226,339	1	226,339
9	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	17,367,366	85	204,322
10	0602 アルツハイマー病	3,029,267	15	201,951

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	585,933,010		22,858		1,558	

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>	19,526,274	3.3%		1,793	7.8%		491	31.5%		39,768	
0101 腸管感染症	1,022,179	0.2%	79	382	1.7%	52	179	11.5%	33	5,710	104
0102 結核	226,793	0.0%	96	41	0.2%	97	22	1.4%	89	10,309	92
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	79,229	0.0%	109	41	0.2%	97	27	1.7%	85	2,934	116
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	1,078,936	0.2%	78	234	1.0%	62	84	5.4%	56	12,844	81
0105 ウイルス性肝炎	8,641,304	1.5%	19	244	1.1%	60	72	4.6%	59	120,018	17
0106 その他のウイルス性疾患	4,074,039	0.7%	39	78	0.3%	88	39	2.5%	76	104,463	20
0107 真菌症	2,333,660	0.4%	56	617	2.7%	39	156	10.0%	36	14,959	73
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	27,257	0.0%	112	4	0.0%	113	2	0.1%	113	13,629	77
0109 その他の感染症及び寄生虫症	2,042,877	0.3%	61	323	1.4%	56	106	6.8%	47	19,272	61
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	70,679,297	12.1%		2,545	11.1%		655	42.0%		107,907	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	9,813,201	1.7%	18	456	2.0%	45	189	12.1%	30	51,922	31
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	3,597,340	0.6%	42	613	2.7%	40	238	15.3%	24	15,115	72
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	81,050	0.0%	108	13	0.1%	108	9	0.6%	100	9,006	94
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	1,344,339	0.2%	70	181	0.8%	66	69	4.4%	61	19,483	60
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	19,175,196	3.3%	10	283	1.2%	59	119	7.6%	42	161,136	12
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	4,289,270	0.7%	38	145	0.6%	75	28	1.8%	84	153,188	14
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	3,136,374	0.5%	49	105	0.5%	84	44	2.8%	74	71,281	24
0208 悪性リンパ腫	4,796,392	0.8%	34	71	0.3%	91	15	1.0%	96	319,759	6
0209 白血病	24,455	0.0%	113	3	0.0%	116	1	0.1%	115	24,455	53
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	16,442,142	2.8%	12	968	4.2%	22	308	19.8%	14	53,384	30
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	7,979,538	1.4%	22	455	2.0%	46	186	11.9%	31	42,901	37
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	3,970,037	0.7%		650	2.8%		193	12.4%		20,570	
0301 貧血	1,198,012	0.2%	74	453	2.0%	47	111	7.1%	44	10,793	91
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,772,025	0.5%	54	221	1.0%	63	99	6.4%	51	28,000	50
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	59,475,924	10.2%		8,635	37.8%		862	55.3%		68,998	
0401 甲状腺障害	1,952,665	0.3%	63	492	2.2%	43	175	11.2%	35	11,158	90
0402 糖尿病	30,762,664	5.3%	2	4,267	18.7%	4	505	32.4%	4	60,916	27
0403 脂質異常症	21,751,165	3.7%	8	6,007	26.3%	2	552	35.4%	3	39,404	40
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	5,009,430	0.9%	31	1,751	7.7%	11	235	15.1%	25	21,317	58
<b>V. 精神及び行動の障害</b>	48,478,260	8.3%		1,923	8.4%		188	12.1%		257,863	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	14,115	0.0%	116	4	0.0%	113	2	0.1%	113	7,058	100
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	130,556	0.0%	104	38	0.2%	100	8	0.5%	101	16,320	69
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	25,967,588	4.4%	6	628	2.7%	37	43	2.8%	75	603,897	4

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	585,933,010	22,858	1,558

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	17,367,366	3.0%	11	966	4.2%	23	85	5.5%	55	204,322	9
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	4,399,961	0.8%	36	987	4.3%	21	106	6.8%	47	41,509	38
0506	知的障害<精神遅滞>	15,112	0.0%	115	7	0.0%	112	5	0.3%	106	3,022	115
0507	その他の精神及び行動の障害	583,562	0.1%	85	97	0.4%	85	16	1.0%	92	36,473	43
VI. 神経系の疾患		26,470,517	4.5%		3,728	16.3%		370	23.7%		71,542	
0601	パーキンソン病	1,451,956	0.2%	69	159	0.7%	69	16	1.0%	92	90,747	23
0602	アルツハイマー病	3,029,267	0.5%	51	132	0.6%	78	15	1.0%	96	201,951	10
0603	てんかん	2,232,463	0.4%	58	153	0.7%	71	23	1.5%	88	97,064	21
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,401,005	1.1%	24	25	0.1%	104	5	0.3%	106	1,280,201	1
0605	自律神経系の障害	18,384	0.0%	114	38	0.2%	100	3	0.2%	112	6,128	101
0606	その他の神経系の疾患	13,337,442	2.3%	14	3,428	15.0%	6	341	21.9%	12	39,113	41
VII. 眼及び付属器の疾患		23,154,901	4.0%		2,150	9.4%		546	35.0%		42,408	
0701	結膜炎	1,194,161	0.2%	75	840	3.7%	29	229	14.7%	26	5,215	108
0702	白内障	3,446,430	0.6%	44	875	3.8%	26	195	12.5%	28	17,674	66
0703	屈折及び調節の障害	2,264,570	0.4%	57	1,692	7.4%	14	474	30.4%	6	4,778	110
0704	その他の眼及び付属器の疾患	16,249,740	2.8%	13	1,712	7.5%	13	409	26.3%	8	39,730	39
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		1,529,164	0.3%		459	2.0%		154	9.9%		9,930	
0801	外耳炎	204,818	0.0%	98	136	0.6%	77	49	3.1%	70	4,180	113
0802	その他の外耳疾患	162,927	0.0%	101	80	0.3%	87	52	3.3%	68	3,133	114
0803	中耳炎	246,523	0.0%	94	91	0.4%	86	33	2.1%	82	7,470	98
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	102,206	0.0%	107	74	0.3%	90	18	1.2%	91	5,678	105
0805	メニエール病	228,807	0.0%	95	59	0.3%	95	11	0.7%	99	20,801	59
0806	その他の内耳疾患	186,919	0.0%	100	63	0.3%	94	16	1.0%	92	11,682	87
0807	その他の耳疾患	396,964	0.1%	90	146	0.6%	74	55	3.5%	67	7,218	99
IX. 循環器系の疾患		99,250,073	16.9%		9,004	39.4%		858	55.1%		115,676	
0901	高血圧性疾患	35,284,209	6.0%	1	7,986	34.9%	1	680	43.6%	1	51,889	32
0902	虚血性心疾患	19,523,642	3.3%	9	1,262	5.5%	18	186	11.9%	31	104,966	19
0903	その他の心疾患	22,374,867	3.8%	7	1,719	7.5%	12	383	24.6%	10	58,420	29
0904	くも膜下出血	5,572,248	1.0%	27	20	0.1%	106	5	0.3%	106	1,114,450	2
0905	脳内出血	3,486,384	0.6%	43	77	0.3%	89	25	1.6%	86	139,455	15
0906	脳梗塞	4,756,973	0.8%	35	628	2.7%	37	104	6.7%	49	45,740	34
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0908	その他の脳血管疾患	3,416,270	0.6%	45	121	0.5%	80	50	3.2%	69	68,325	26
0909	動脈硬化(症)	896,414	0.2%	81	240	1.0%	61	57	3.7%	66	15,727	70
0911	低血圧(症)	4,949	0.0%	117	8	0.0%	111	1	0.1%	115	4,949	109
0912	その他の循環器系の疾患	3,934,117	0.7%	40	336	1.5%	55	87	5.6%	54	45,220	35
X. 呼吸器系の疾患		29,931,408	5.1%		3,941	17.2%		844	54.2%		35,464	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	161,568	0.0%	102	172	0.8%	68	63	4.0%	63	2,565	117
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	1,002,352	0.2%	80	437	1.9%	48	191	12.3%	29	5,248	107
1003	その他の急性上気道感染症	1,258,955	0.2%	72	557	2.4%	42	264	16.9%	20	4,769	111

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	585,933,010	22,858	1,558

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	1,500,259	0.3%	68	107	0.5%	83	65	4.2%	62	23,081	56
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,653,487	0.3%	67	590	2.6%	41	273	17.5%	17	6,057	103
1006	アレルギー性鼻炎	4,343,849	0.7%	37	1,537	6.7%	16	388	24.9%	9	11,195	89
1007	慢性副鼻腔炎	2,913,832	0.5%	53	410	1.8%	50	103	6.6%	50	28,290	49
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	405,670	0.1%	89	194	0.8%	65	76	4.9%	58	5,338	106
1009	慢性閉塞性肺疾患	3,288,191	0.6%	48	869	3.8%	27	178	11.4%	34	18,473	64
1010	喘息	4,834,973	0.8%	33	808	3.5%	32	134	8.6%	40	36,082	44
1011	その他の呼吸器系の疾患	8,568,272	1.5%	20	822	3.6%	31	287	18.4%	16	29,855	48
X I . 消化器系の疾患		50,686,884	8.7%		8,267	36.2%		926	59.4%		54,737	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	10,221,144	1.7%	17	2,480	10.8%	7	313	20.1%	13	32,655	47
1105	胃炎及び十二指腸炎	7,437,944	1.3%	23	3,559	15.6%	5	504	32.3%	5	14,758	74
1106	痔核	450,129	0.1%	88	159	0.7%	69	49	3.1%	70	9,186	93
1107	アルコール性肝疾患	111,150	0.0%	106	38	0.2%	100	8	0.5%	101	13,894	76
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	544,239	0.1%	87	301	1.3%	58	38	2.4%	77	14,322	75
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	674,413	0.1%	83	124	0.5%	79	25	1.6%	86	26,977	51
1110	その他の肝疾患	1,218,653	0.2%	73	479	2.1%	44	142	9.1%	39	8,582	95
1111	胆石症及び胆のう炎	3,415,658	0.6%	46	641	2.8%	36	151	9.7%	37	22,620	57
1112	膵疾患	590,708	0.1%	84	215	0.9%	64	36	2.3%	80	16,409	68
1113	その他の消化器系の疾患	26,022,846	4.4%	4	4,791	21.0%	3	579	37.2%	2	44,944	36
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		8,529,627	1.5%		2,104	9.2%		496	31.8%		17,197	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	366,097	0.1%	92	119	0.5%	81	60	3.9%	65	6,102	102
1202	皮膚炎及び湿疹	4,867,137	0.8%	32	1,341	5.9%	17	362	23.2%	11	13,445	78
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	3,296,393	0.6%	47	1,094	4.8%	19	273	17.5%	17	12,075	85
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		66,034,860	11.3%		6,249	27.3%		765	49.1%		86,320	
1301	炎症性多発性関節障害	11,875,341	2.0%	15	928	4.1%	25	128	8.2%	41	92,776	22
1302	関節症	28,908,894	4.9%	3	2,204	9.6%	8	272	17.5%	19	106,283	18
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	5,997,561	1.0%	25	1,855	8.1%	9	258	16.6%	21	23,246	55
1304	椎間板障害	571,764	0.1%	86	150	0.7%	73	37	2.4%	78	15,453	71
1305	頸腕症候群	1,341,539	0.2%	71	704	3.1%	34	111	7.1%	44	12,086	84
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	3,786,591	0.6%	41	1,543	6.8%	15	289	18.5%	15	13,102	79
1307	その他の脊柱障害	2,714,608	0.5%	55	176	0.8%	67	45	2.9%	73	60,325	28
1308	肩の傷害<損傷>	2,220,470	0.4%	59	862	3.8%	28	117	7.5%	43	18,978	63
1309	骨の密度及び構造の障害	5,616,247	1.0%	26	1,079	4.7%	20	151	9.7%	37	37,194	42
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	3,001,845	0.5%	52	794	3.5%	33	245	15.7%	22	12,252	83

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	585,933,010	22,858	1,558

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	41,215,699	7.0%		2,425	10.6%		409	26.3%		100,772	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	1,703,767	0.3%	65	311	1.4%	57	71	4.6%	60	23,997	54
1402 腎不全	25,986,123	4.4%	5	371	1.6%	53	37	2.4%	78	702,328	3
1403 尿路結石症	1,673,072	0.3%	66	369	1.6%	54	88	5.6%	53	19,012	62
1404 その他の腎尿路系の疾患	5,251,773	0.9%	29	951	4.2%	24	214	13.7%	27	24,541	52
1405 前立腺肥大(症)	5,061,542	0.9%	30	826	3.6%	30	108	6.9%	46	46,866	33
1406 その他の男性生殖器系の疾患	189,860	0.0%	99	51	0.2%	96	16	1.0%	92	11,866	86
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	269,868	0.0%	93	70	0.3%	93	21	1.3%	90	12,851	80
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	1,079,694	0.2%	77	145	0.6%	75	63	4.0%	63	17,138	67
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	2,092,212	0.4%		24	0.1%		11	0.7%		190,201	
1501 流産	48,484	0.0%	111	9	0.0%	110	6	0.4%	104	8,081	96
1502 妊娠高血圧症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	2,043,728	0.3%	60	15	0.1%	107	6	0.4%	104	340,621	5
XVI. 周産期に発生した病態	939,902	0.2%		5	0.0%		4	0.3%		234,976	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	226,339	0.0%	97	2	0.0%	117	1	0.1%	115	226,339	8
1602 その他の周産期に発生した病態	713,563	0.1%	82	4	0.0%	113	4	0.3%	111	178,391	11
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,192,605	0.5%		129	0.6%		32	2.1%		99,769	
1701 心臓の先天奇形	1,186,681	0.2%	76	26	0.1%	103	5	0.3%	106	237,336	7
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	2,005,924	0.3%	62	108	0.5%	82	29	1.9%	83	69,170	25
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,462,911	0.9%		1,761	7.7%		442	28.4%		12,360	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,462,911	0.9%	28	1,761	7.7%	10	442	28.4%	7	12,360	82
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	21,767,075	3.7%		1,024	4.5%		315	20.2%		69,102	
1901 骨折	11,125,713	1.9%	16	384	1.7%	51	81	5.2%	57	137,354	16
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	1,908,342	0.3%	64	39	0.2%	99	12	0.8%	98	159,029	13
1903 熱傷及び腐食	127,534	0.0%	105	11	0.0%	109	7	0.4%	103	18,219	65
1904 中毒	152,963	0.0%	103	71	0.3%	91	34	2.2%	81	4,499	112
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	8,452,523	1.4%	21	659	2.9%	35	240	15.4%	23	35,219	45
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,176,056	0.5%		459	2.0%		98	6.3%		32,409	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	56,709	0.0%	110	22	0.1%	105	5	0.3%	106	11,342	88
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	585,933,010	22,858	1,558

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	3,119,347	0.5%	50	437	1.9%	48	93	6.0%	52	33,541	46
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		369,324	0.1%		153	0.7%		46	3.0%		8,029	
9999	分類外	369,324	0.1%	91	153	0.7%	71	46	3.0%	72	8,029	97

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## 4. 保健事業実施に係る分析結果

### (1) 特定健康診査に係る分析

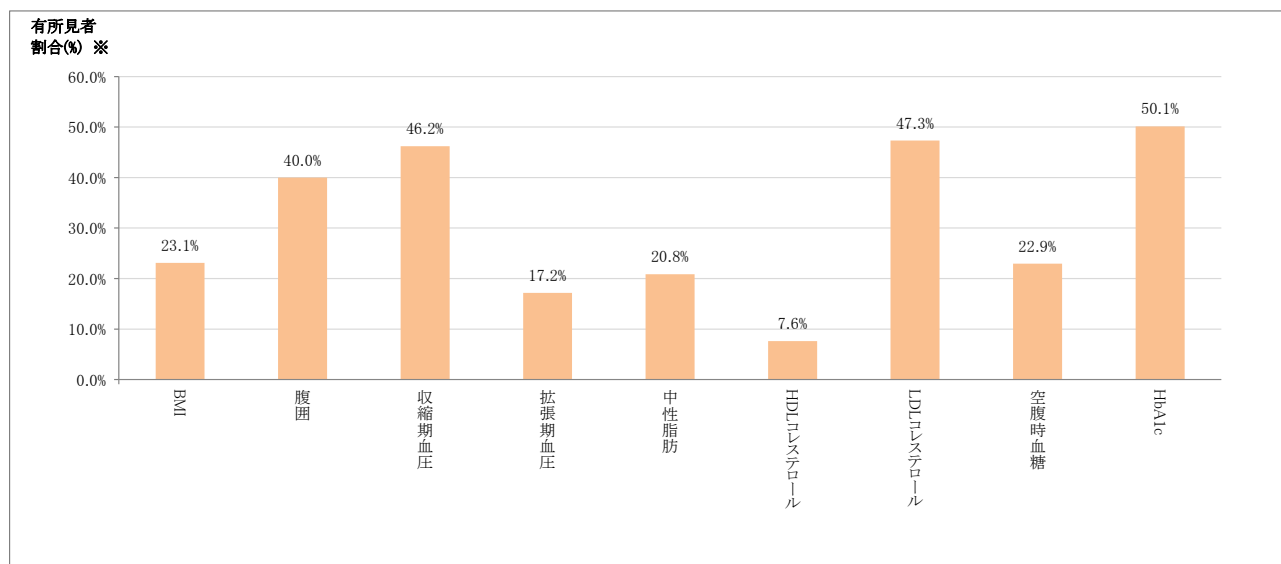
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

#### 有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	355	355	355	355
有所見者数(人) ※	82	142	164	61
有所見者割合(%) ※	23.1%	40.0%	46.2%	17.2%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	355	355	355	279	355
有所見者数(人) ※	74	27	168	64	178
有所見者割合(%) ※	20.8%	7.6%	47.3%	22.9%	50.1%

#### 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、  
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、  
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

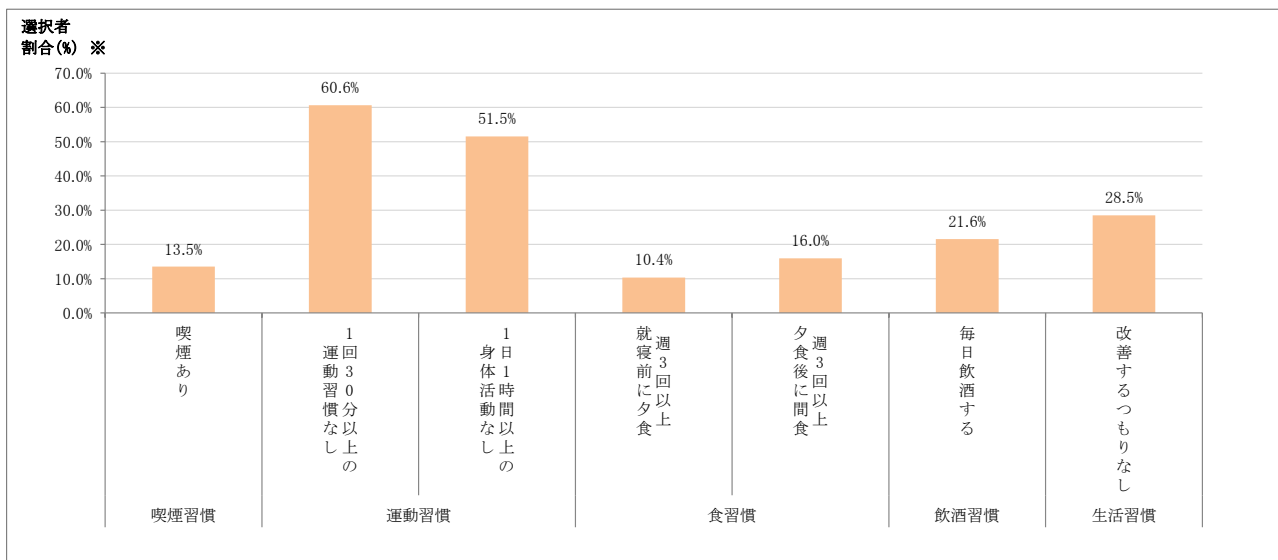


## 質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	355	193	194
選択者数(人) ※	48	117	100
選択者割合(%) ※	13.5%	60.6%	51.5%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	193	194	348	193
選択者数(人) ※	20	31	75	55
選択者割合(%) ※	10.4%	16.0%	21.6%	28.5%

## 質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

### 質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

## (2) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は26人である。このうち、積極的支援の対象者は6人、動機付け支援の対象者は20人である。

### 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者		
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			26人		
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	0人	6人	23%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	0人		
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	0人		
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	0人		
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	0人		
	●	●			因子数2	血糖+血圧	1人		
	●		●			血糖+脂質	2人		
	●	●	●			血圧+脂質	3人		
	●			●		血糖+喫煙	0人		
		●		●		血圧+喫煙	0人		
			●	●	脂質+喫煙	0人			
	●			●	因子数1	血糖	0人		
		●				血圧	0人		
		●		脂質		0人			
			●	喫煙	0人				
				因子数0	なし	0人			
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	0人	20人	77%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	1人		
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	1人		
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	0人		
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	0人		
	●	●			因子数2	血糖+血圧	1人		
	●		●			血糖+脂質	1人		
	●	●	●			血圧+脂質	1人		
	●			●		血糖+喫煙	1人		
		●		●		血圧+喫煙	1人		
			●	●	脂質+喫煙	0人			
	●			●	因子数1	血糖	2人		
		●				血圧	6人		
		●		脂質		5人			
			●	喫煙	0人				
				因子数0	なし	0人			

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

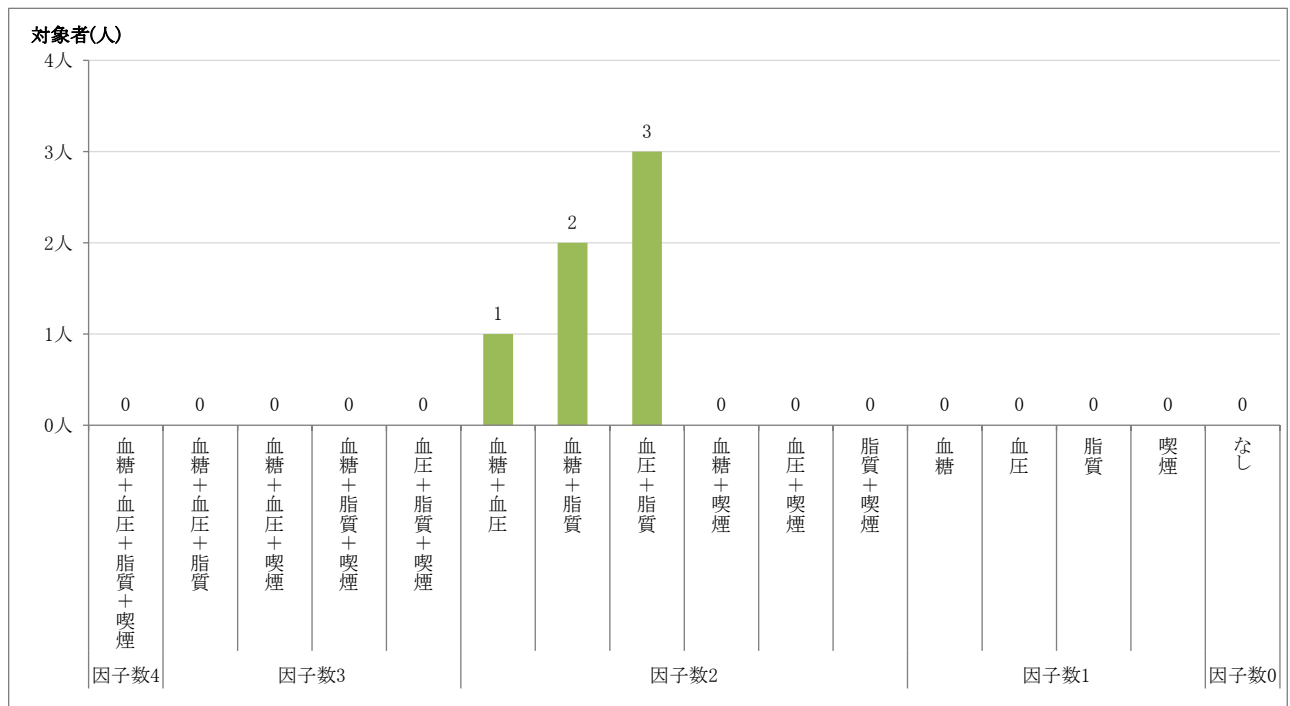
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

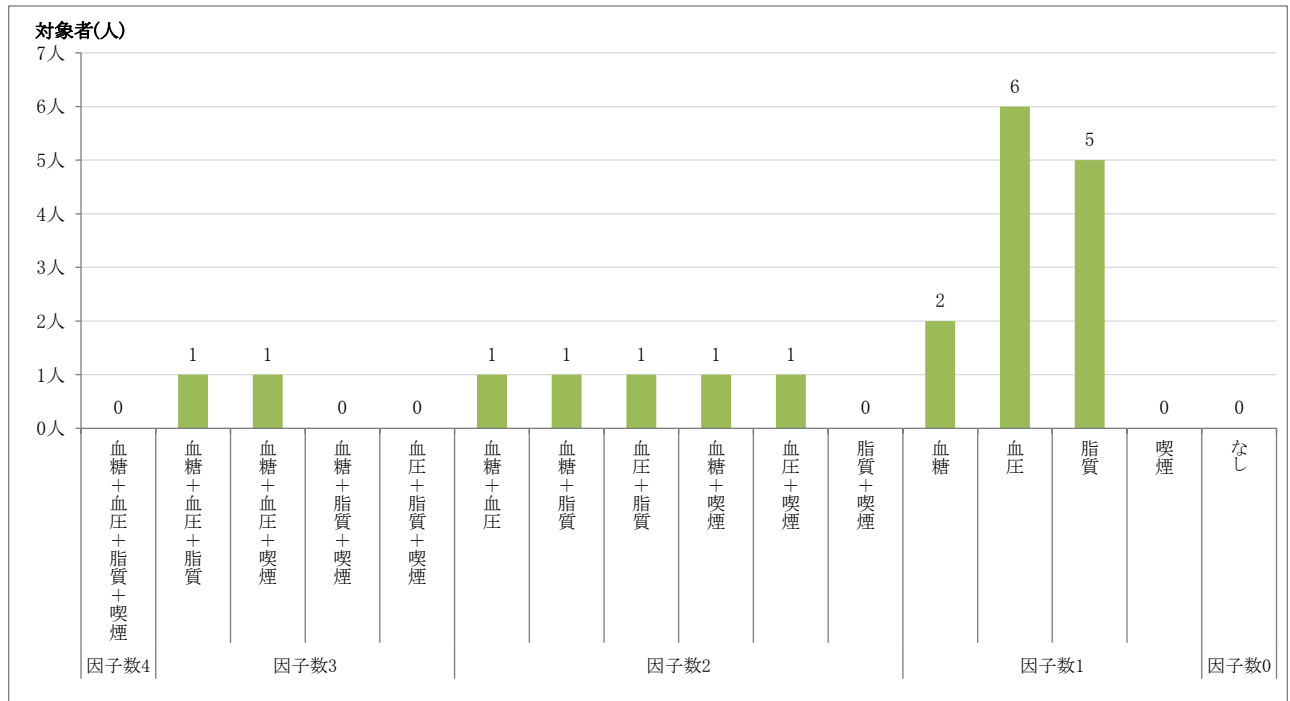
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

## 積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

## 動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

### (3) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、60.0%が生活習慣を起因とするものであり、その60.0%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

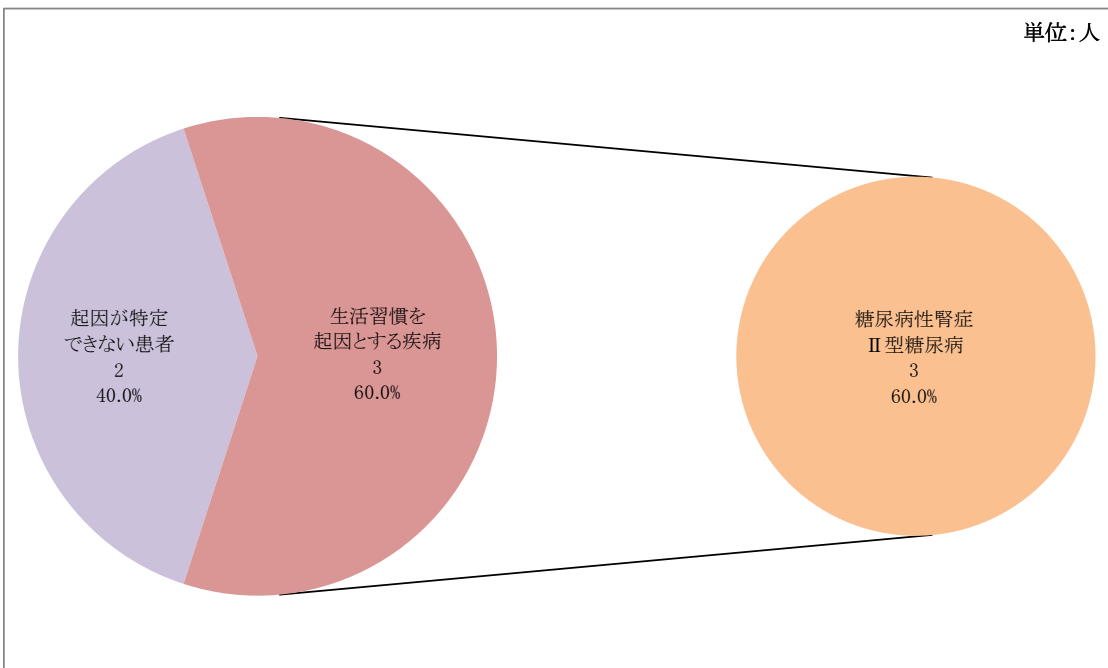
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	4
腹膜透析のみ	1
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	5

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

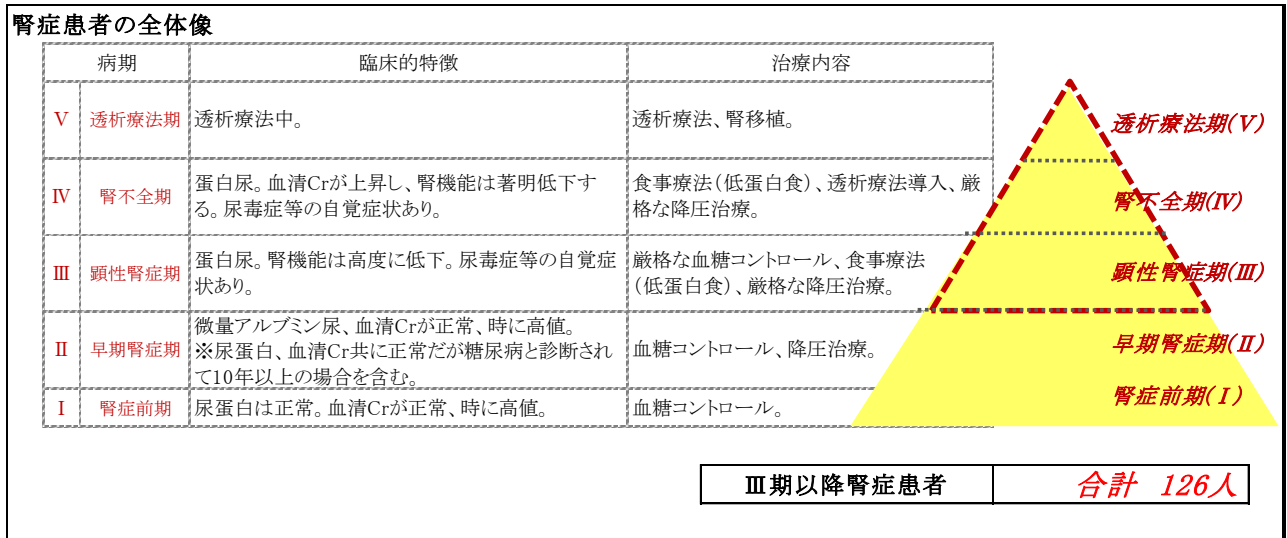
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者126人中22人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

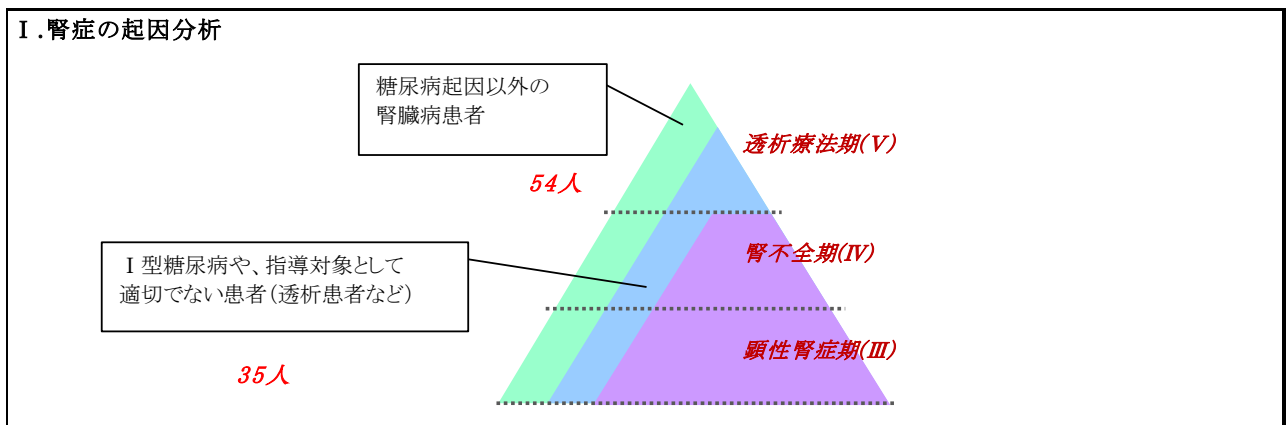
### 腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、54人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、35人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

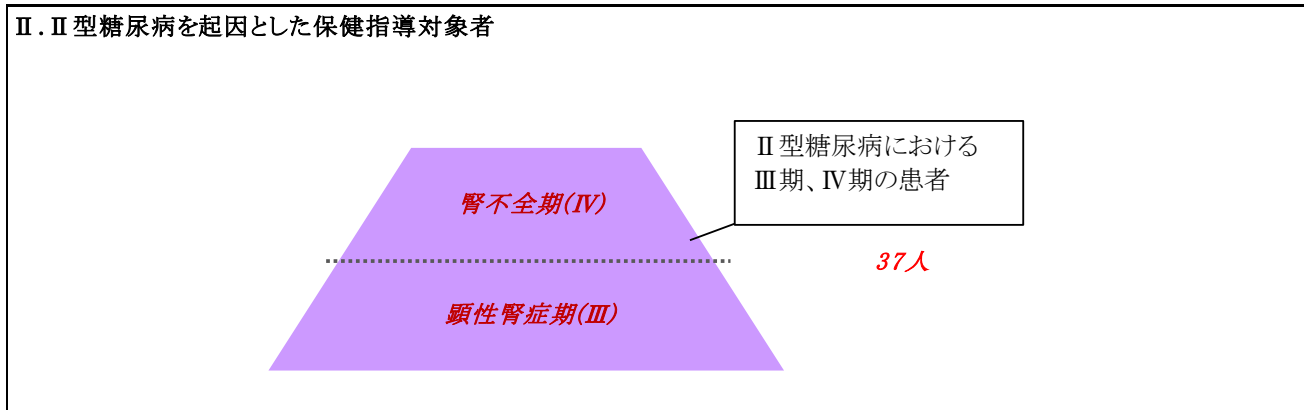
### 腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて37人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

## Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

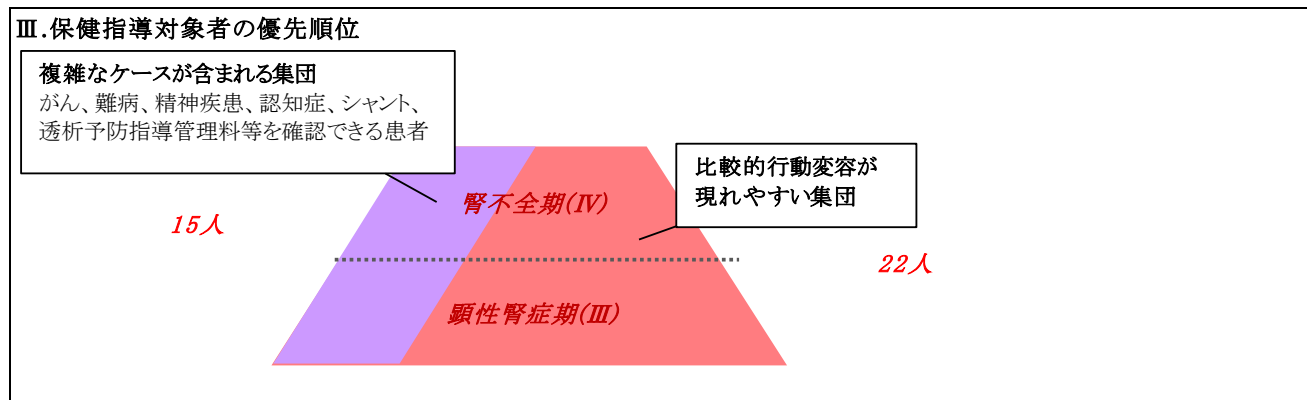


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。37人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、15人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、22人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

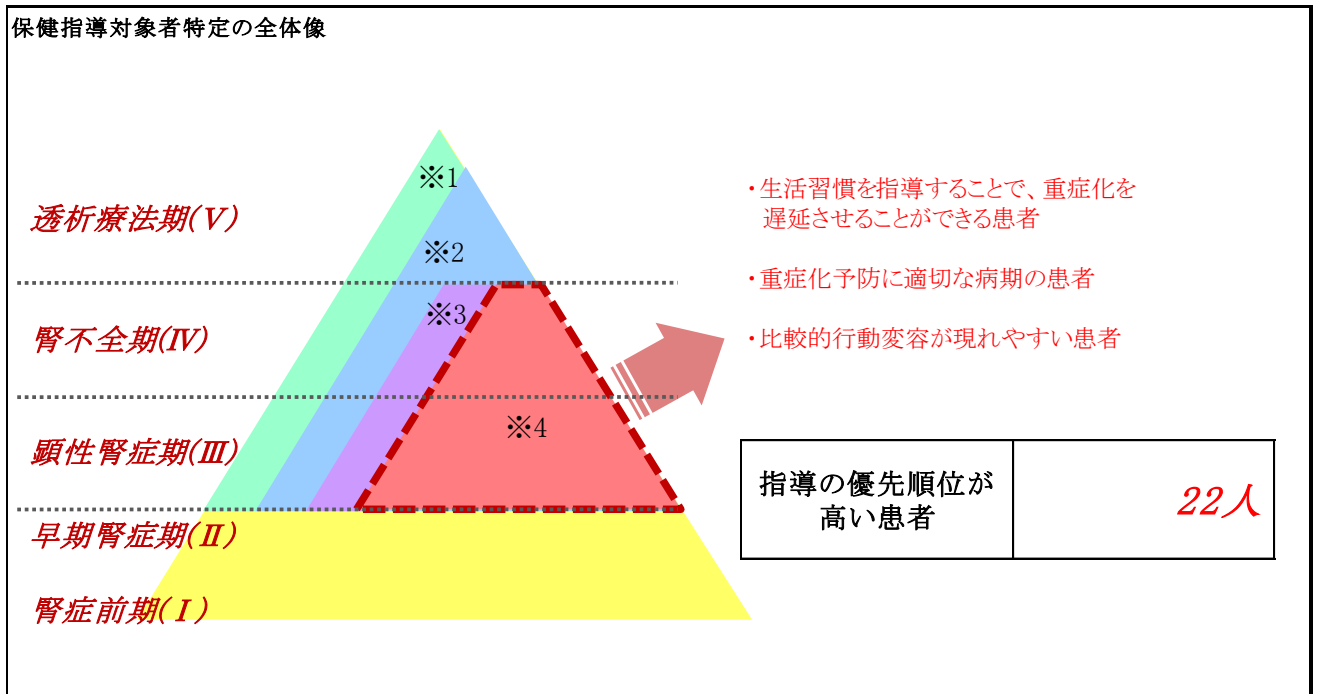
## 保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、22人となった。この分析の全体像を以下に示す。

### 保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

#### (4) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

#### 重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	3	0	2	0	0	0	1	3	1	1	0	0
12カ月間の延べ人数											11	
12カ月間の実人数											11	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

#### 頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	4	1	7	3	2	2	3	2	4	3	2	3
12カ月間の延べ人数											36	
12カ月間の実人数											11	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

#### 重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	1	6	9	4	4	8	9	4	8	11	8	11
12カ月間の延べ人数											83	
12カ月間の実人数											36	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。



分析結果より、12カ月間で重複受診者は11人、頻回受診者は11人、重複服薬者は36人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

### 条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に<b>3医療機関以上</b>受診している患者</li> <li>・頻回受診患者 …1カ月間で<b>同一医療機関に12回以上</b>受診している患者</li> <li>・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、<b>同系医薬品の日数合計が60日を超える</b>患者</li> </ul>	
条件設定により候補者となった患者数	<b>56 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

### 除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	<b>0 人</b>	<b>43 人</b>
除外②	がん、難病等 ※	<b>43 人</b>	
除外患者を除き、候補者となった患者数		<b>13 人</b>	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。  
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者13人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは3人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A  0人	候補者C  0人	候補者 と し な い  10人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B  3人	候補者D  0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E  0人	候補者F  0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良      効率      悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			3人	

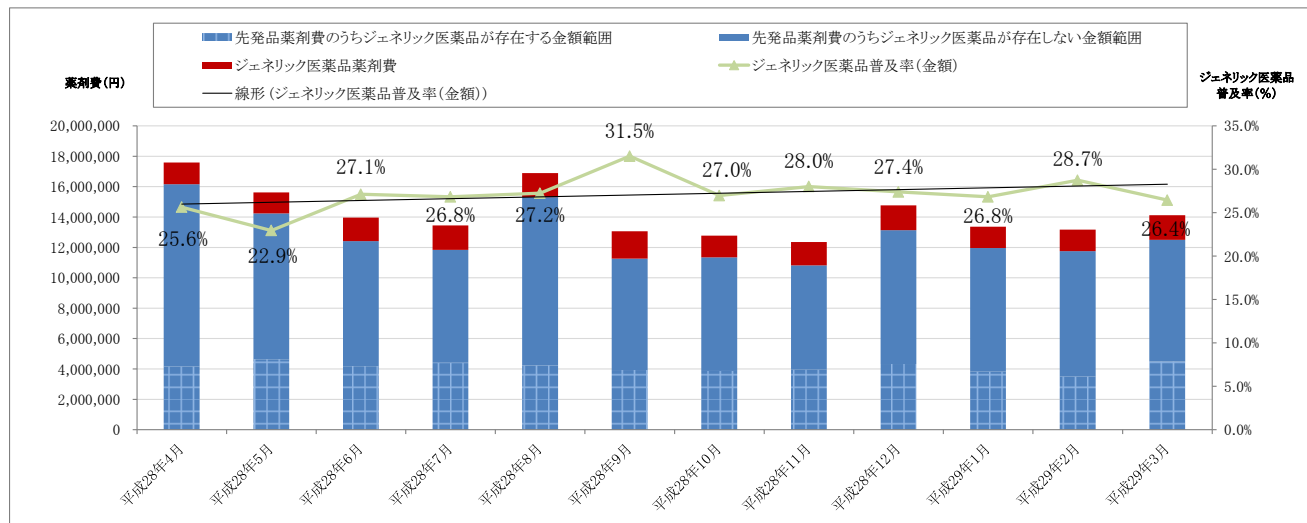
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (5) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は27.1%(金額ベース)、48.2%(数量ベース)である。

### ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

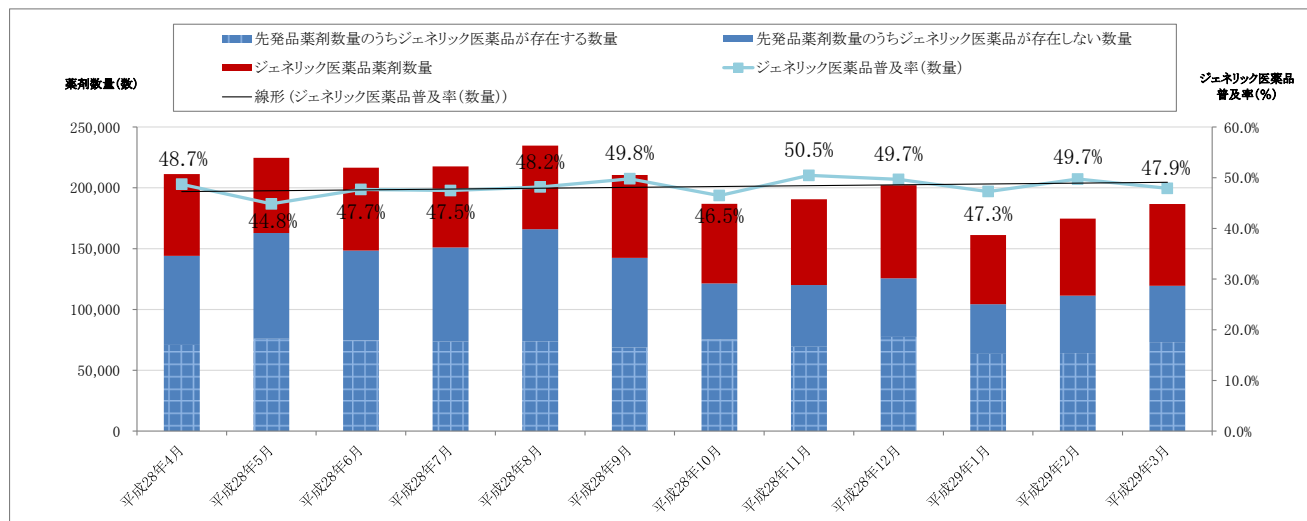


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

## (6)服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は138人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	315	79	72	92	117	226	430	509	1,840	
薬剤種類数	1種類	7	2	3	0	1	5	8	2	28
	2種類	6	0	1	0	4	5	14	10	40
	3種類	1	1	0	0	3	10	15	7	37
	4種類	0	1	1	1	1	2	16	13	35
	5種類	2	1	0	0	3	3	8	10	27
	6種類	0	0	0	1	0	2	8	11	22
	7種類	0	0	0	0	2	5	5	14	26
	8種類	1	0	1	1	0	3	9	10	25
	9種類	0	0	0	0	1	2	8	5	16
	10種類	0	0	0	0	1	0	7	7	15
	11種類	0	0	1	1	0	0	2	4	8
	12種類	0	0	0	0	2	0	2	5	9
	13種類	0	0	0	0	0	1	1	3	5
	14種類	0	0	0	1	0	1	0	1	3
	15種類	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	16種類	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	17種類	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	18種類	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	19種類	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	20種類	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	17	5	7	6	18	39	105	108	305



長期多剤服薬者数(人)※	138
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者138人が被保険者全体に占める割合は7.5%、長期服薬者全体に占める割合は45.2%である。

### 長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	315	79	72	92	117	226	430	509	1,840
B	長期服薬者数(人)※	17	5	7	6	18	39	105	108	305
C	長期多剤服薬者数(人)※	1	0	2	5	6	14	44	66	138
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.3%	0.0%	2.8%	5.4%	5.1%	6.2%	10.2%	13.0%	7.5%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	5.9%	0.0%	28.6%	83.3%	33.3%	35.9%	41.9%	61.1%	45.2%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

## 5. 分析結果に基づく健康課題の把握

### (1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

#### 【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	99,250,073円
2位	新生物<腫瘍>	70,679,297円
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	66,034,860円

患者数が多い疾病		患者数
1位	消化器系の疾患	926人
2位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	862人
3位	循環器系の疾患	858人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	257,863円
2位	周産期に発生した病態	234,976円
3位	妊娠, 分娩及び産じょく	190,201円

#### 【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	高血圧性疾患	35,284,209円
2位	糖尿病	30,762,664円
3位	関節症	28,908,894円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	680人
2位	その他の消化器系の疾患	579人
3位	脂質異常症	552人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1,280,201円
2位	くも膜下出血	1,114,450円
3位	腎不全	702,328円

### 【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	165件
高額レセプト件数割合	0.7%
高額レセプト医療費割合	29.0%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	腎不全	6,179,163円
2位	くも膜下出血	5,978,450円
3位	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	5,963,678円

### 【糖尿病性腎症発症者の状況】

人工透析患者	5人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	3人

### 【医療機関受診状況】

重複受診者	11人
頻回受診者	11人
重複服薬者	36人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

### 【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	48.2%
--------------	-------

### 【服薬状況】

長期多剤服薬者	138人
---------	------

## (2) 分析結果に基づく課題とその対策

### 分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆ジェネリック医薬品普及率に係る分析より ジェネリック医薬品普及率48.2%（数量ベース）、国が定める現在の目標（80%以上）と比較して低いため、引き続き後発医薬品の普及促進を行う必要がある。</p>	後発医薬品の普及促進
<p>◆受診行動適正化に係る分析および服薬情報に係る分析より 薬剤の多剤服用は、高齢者に起こりやすいふらつきや転倒が起こりやすくなり、複数の医療機関で6種類以上の薬剤を14日以上服用している対象者が138人存在する。通知などにより重複服薬や薬害事象が発生しないよう、対象者に注意喚起を行う必要がある。</p>	医薬品の重複・多剤投与対策
<p>◆高額レセプト発生患者の疾病傾向および中分類による疾病別医療費統計より 腎不全、くも膜下出血、虚血性心疾患、脳内出血といった生活習慣病が重症化した疾病により高額レセプトが発生している。 中分類による疾病別統計について、高血圧疾患、糖尿病、脂質異常症、虚血性心疾患といった生活習慣病が上位10疾病に入っている。 生活習慣病の早期発見を目的に特定健康診査の受診率の向上を図り、有所見者への特定保健指導の実施、受診勧奨判定値の者に受診勧奨を行い治療に結びつけるなど重症化を回避する取り組みを行う必要がある。  その他、質問票の回答より20歳時体重から10kg以上増加、1回30分以上の運動習慣なし、1日1時間以上運動なしの割合が県、国と比較して高くなっている。運動の効果や効果的な運動方法について情報提供や運動環境の提供をする。</p>	<p>特定健康診査 特定保健指導 特定健康診査（集団健診）結果説明会 運動教室 訪問栄養指導 生活習慣病予防教室（栄養教室）</p>
<p>◆糖尿病性腎症重症化予防に係る分析より Ⅱ型糖尿病を起因とし、指導の優先順位が高い患者が22人存在する。 糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善する必要がある。 また、特定健康診査の結果より、「eGFR40～49」の者で受療していない方に対して受療勧奨をする必要がある。</p>	<p>糖尿病等治療勧奨の推進 糖尿病性腎症重症化予防対策 慢性腎臓病重症化予防対策事業</p>





# 第3章 保健事業実施計画

## 1. 各事業の目的と概要一覧

データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要	ストラクチャー 実施体制
後発医薬品の普及促進	後発医薬品の普及率の向上	後発医薬品(ジェネリック)差額通知を定期的に送付	国保事務支援 センター  下市町
医薬品の重複・多剤投与対策	医薬品の重複・多剤投与の減少	国保事務支援センターにより抽出された重複・多剤投与者に対して注意喚起文書の送付を実施	国保事務支援 センター  下市町
特定健康診査	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査実施率向上に向け、特定健康診査未受診者への受診勧奨、健診結果の通知等	国保事務支援 センター  下市町
特定保健指導	特定保健指導実施率向上	特定保健指導実施率向上に向け、特定保健指導未利用者への利用勧奨	国保事務支援 センター  下市町
糖尿病等治療勧奨の促進	治療勧奨実施による対象者のQOLの向上	特定健康診査結果を活用し、糖尿病等生活習慣病の重症者への治療勧奨の実施	国保事務支援 センター  下市町
糖尿病性腎症重症化予防対策	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	国保事務支援センターと連携し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき糖尿病治療勧奨や本町の実情に応じた保健指導の実施	国保事務支援 センター  下市町
慢性腎臓病重症化予防対策事業	慢性腎臓病の重症化予防	特定健康診査の結果より、「eGFR40～49」の者に対し、医療機関への受診を勧奨する	下市町
特定健康診査(集団健診)結果説明会	生活習慣の改善	特定健康診査の結果を個別面談にて説明し、栄養士による食事相談を合わせて実施する	下市町
運動教室	健康的な運動習慣を身につけ健康の保持・増進ならびに生活習慣病の予防や重症化予防を図る。	ウォーキングを行うことで、健康的な運動習慣を身につけ健康の保持・増進ならびに生活習慣病の予防や重症化予防を図る	下市町
訪問栄養指導	生活習慣の改善	特定保健指導を継続していく中で特に栄養指導が必要な方に対して訪問による指導を行う	下市町
生活習慣病予防教室(栄養教室)	生活習慣の改善	管理栄養士による栄養教室を行い、健康的な食生活習慣を身につけ、健康の保持・増進ならびに生活習慣病の予防や重症化予防を図る	下市町

プロセス	目標値			評価方法
	アウトプット		アウトカム	
	H32年度	H35年度	H35年度	
国保事務支援センター経由で年4回の通知を行う	対象者への通知率100%		ジェネリック医薬品普及率80% (平成29年3月時点:47.9%)	国保事務支援センターにて確認
国保事務支援センター経由で重複・多剤投薬者抽出システムを活用し、対象者を抽出し、文書等による注意喚起を行う	対象者への通知率100%		15種類以上の薬剤を投与されている患者の減少 (新規)	国保事務支援センターにて確認
対象者を特定し、受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認する	対象者への通知率100%		特定健康診査受診率40% (平成28年度:29%)	国保事務支援センターにて確認 法定報告にて確認
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する	対象者への指導実施率45%以上		積極的支援及び動機付け支援対象者数割合5%未満 (平成28年度:26.9%)	国保事務支援センターにて確認 法定報告にて確認
特定健康診査結果から重症で未治療の糖尿病(高血糖)、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病者に治療勧奨カードを送付し、医療機関への受診勧奨を実施	対象者への通知率100%		医療機関への受診率50% (平成28年度治療勧奨カード送付9人、回答4人)	国保事務支援センターにて確認
糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、重症化予防対策を推進するため、2型糖尿病であり腎機能が低下している者に対し、治療勧奨及び保健指導を行う	対象者への通知率100%		糖尿病性腎症による新規人工透析患者数の減少 (新規)	国保事務支援センターにて確認
特定健康診査の結果から対象者を特定し、受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に医療機関へ受診したかを確認する	対象者への通知率100%		医療機関への受診率50% (平成28年度受診率:27.8%)	医療機関からの返信通知により確認
特定健康診査の結果を個別に説明しながら健診結果を返却する。毎年の受診を進める	対象者への通知率100%		参加率80% (平成28年度参加率:58.9%)	対象者名簿より確認
1クールを3回とし、ウォーキング講座を年2回実施する。数か月後に4回目として評価を実施する	運動指導回数年8回		「運動習慣なし」の回答50%未満 (新規)	特定健康診査質問票回答により確認
特定保健指導対象者に対して、適切な栄養指導を実施する。指導後に健診データより検査値の推移を確認する	訪問指導回数10回		実施者への改善率50% (平成28年度訪問指導人数:8人)	特定健康診査結果データにより確認
希望する対象者に対して栄養教室を実施し、食生活習慣の改善を図る	広報等により参加者を募集する		意識付けの向上を図る (平成28年度:開催1回、6名参加)	アンケートにより確認

## 2. 各事業の実施内容と評価方法

本計画における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

### (1) 後発医薬品の普及促進

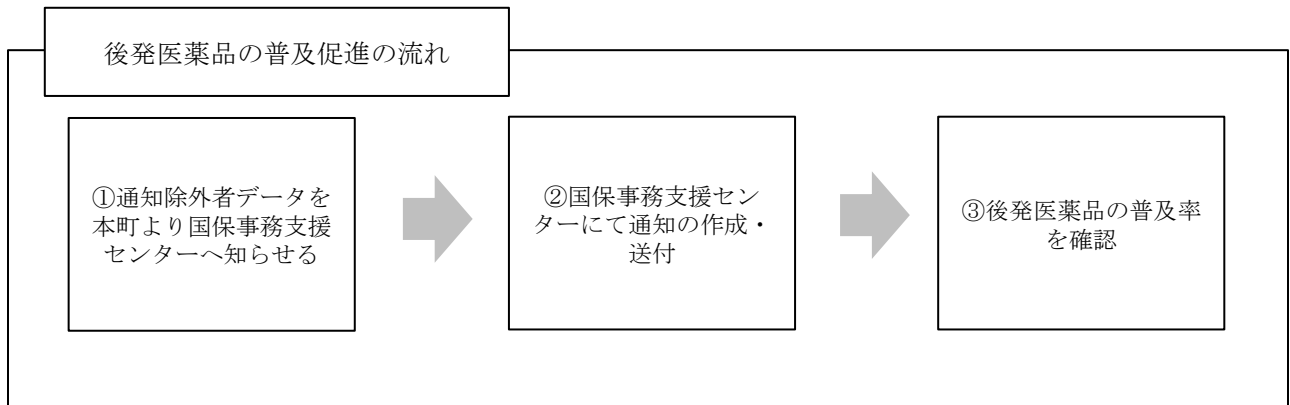
#### 【事業目的】

後発医薬品の普及率の向上

#### 【事業概要】

後発医薬品（ジェネリック）差額通知を定期的を送付

#### 【実施内容】



#### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率100%	ジェネリック医薬品普及率80%	国保事務支援センターにて確認

【実施スケジュール】 平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール														
平成30年												平成31年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
通知スケジュール調整			通知			通知			通知			通知		

## (2) 医薬品の重複・多剤投与対策

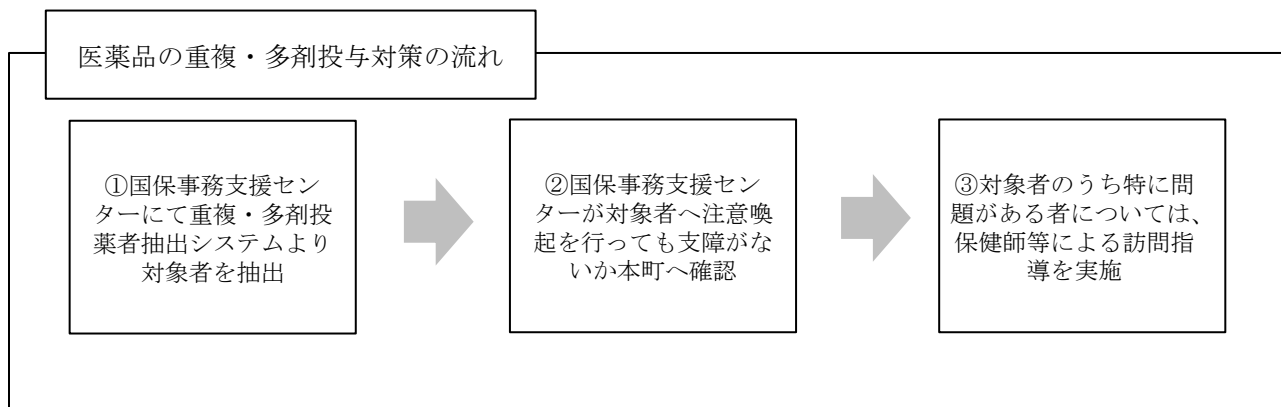
### 【事業目的】

医薬品の重複・多剤投与の減少

### 【事業概要】

国保事務支援センターにより抽出された重複・多剤投与者に対して注意喚起文書の送付を実施

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者への通知率100%	15種類以上の薬剤を投与されている患者の減少	国保事務支援センターにて確認

### 【実施スケジュール】 平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール														
平成30年												平成31年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
詳細検討・調整			対象者抽出準備						通知作成・送付			レセプト等による結果把握		
→			→						←			←		
									←			←		
									←			←		

### (3) 特定健康診査

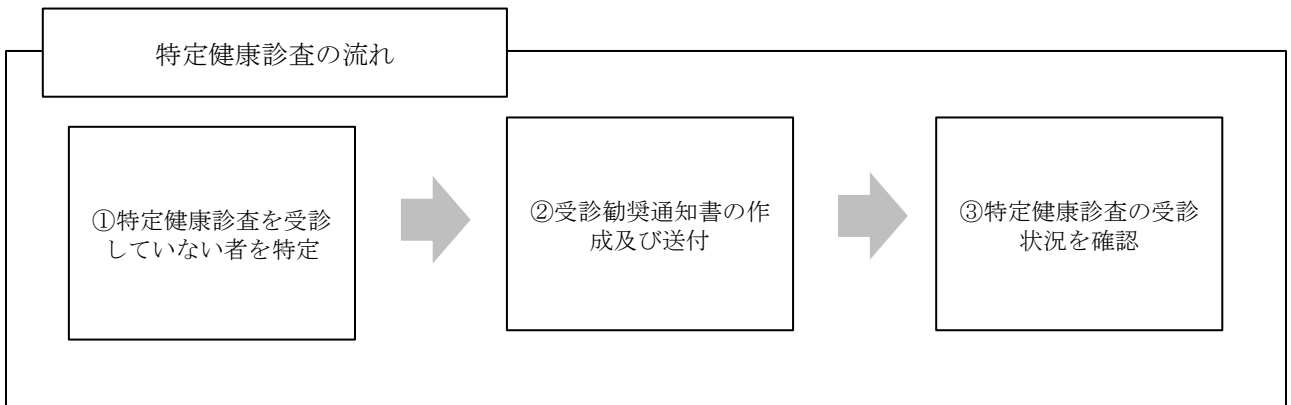
#### 【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

#### 【事業概要】

特定健康診査実施率向上に向け、特定健康診査未受診者への受診勧奨、健診結果の通知等

#### 【事業内容】



#### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者への通知率100%	特定健康診査受診率40%	国保事務支援センターにて確認 法定報告にて確認

【実施スケジュール】 平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール																
平成30年												平成31年				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
内容検討						勧奨通知			再勧奨通知							
→					← 対象者抽出 →											



## (5) 糖尿病等治療勸奨の推進

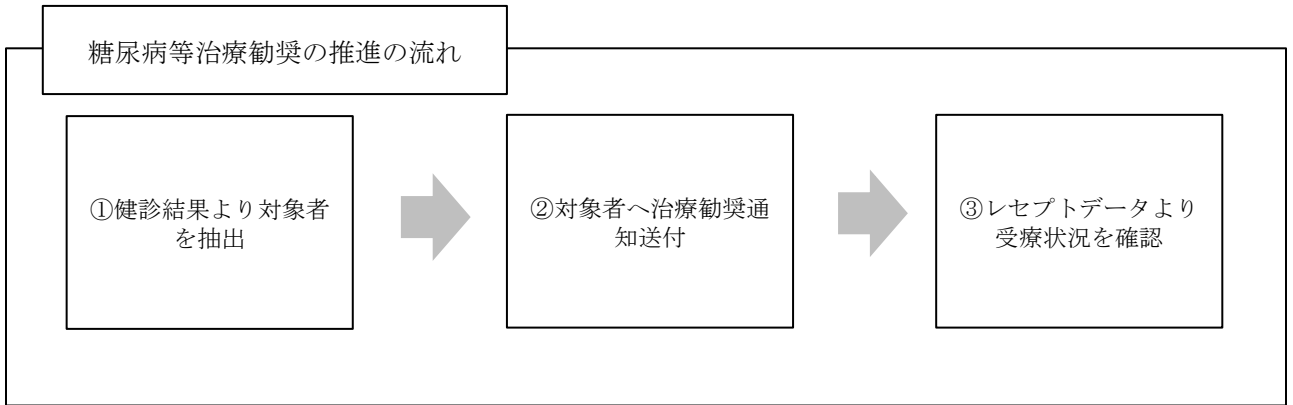
### 【事業目的】

治療勸奨実施による対象者のQOLの向上

### 【事業概要】

特定健康診査結果を活用し、糖尿病等生活習慣病の重症者への治療勸奨の実施

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者への通知率100%	医療機関への受診率50%	国保事務支援センターにて確認

### 【実施スケジュール】 平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール														
平成30年												平成31年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
詳細検討・調整			対象者抽出準備						治療勸奨通知送付			レセプトによる結果把握		
→			→						←			←		



## (6) 糖尿病性腎症重症化予防対策

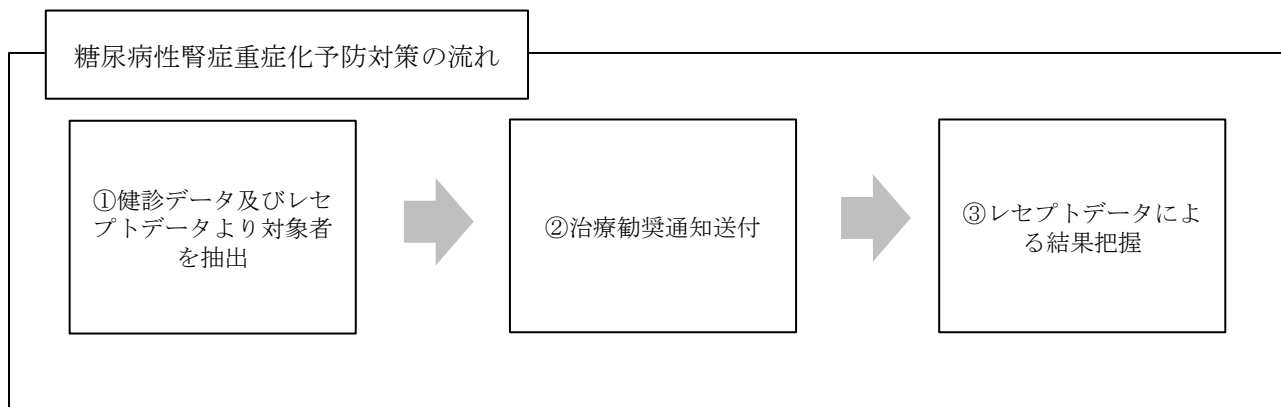
### 【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

### 【事業概要】

国保事務支援センターと連携し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき糖尿病治療勧奨や本町の実情に応じた保健指導の実施

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者への通知率100%	糖尿病性腎症による新規人工透析患者数の減少	国保事務支援センターにて確認

【実施スケジュール】平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール														
平成30年												平成31年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
詳細検討・調整			対象者抽出準備						治療勧奨通知送付			レセプトによる結果把握		
→			→						←			←		

## (7) 慢性腎臓病重症化予防対策事業

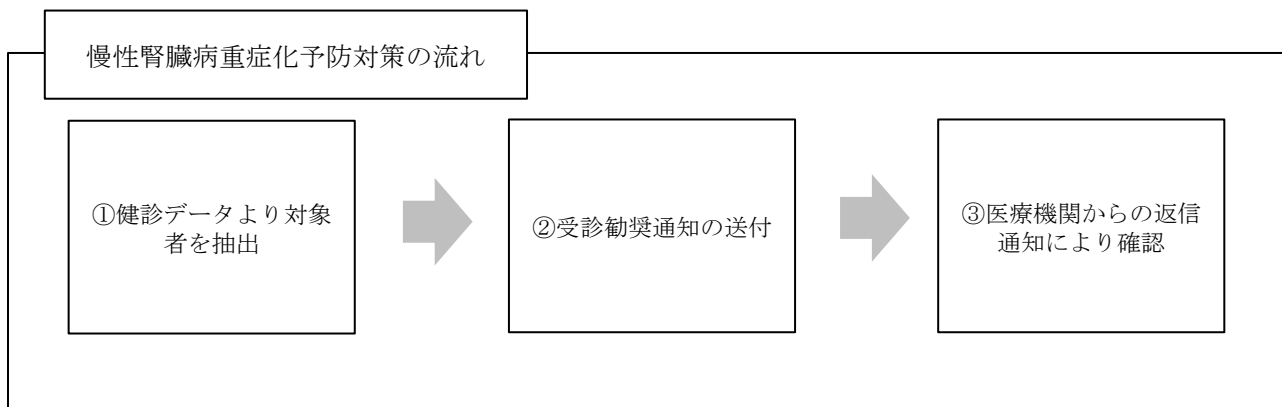
### 【事業目的】

慢性腎臓病の重症化予防

### 【事業概要】

特定健康診査の結果より、「eGFR40～49」の者に対し、医療機関への受診を勧奨する。

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者への通知率100%	医療機関への受診率50%	医療機関からの返信通知により確認

【実施スケジュール】平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール																	
平成30年												平成31年					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
						対象者を抽出し、受診勧奨を通知											
医療機関からの返信通知により確認																	
→																←	

## (8) 特定健康診査（集団健診）結果説明会

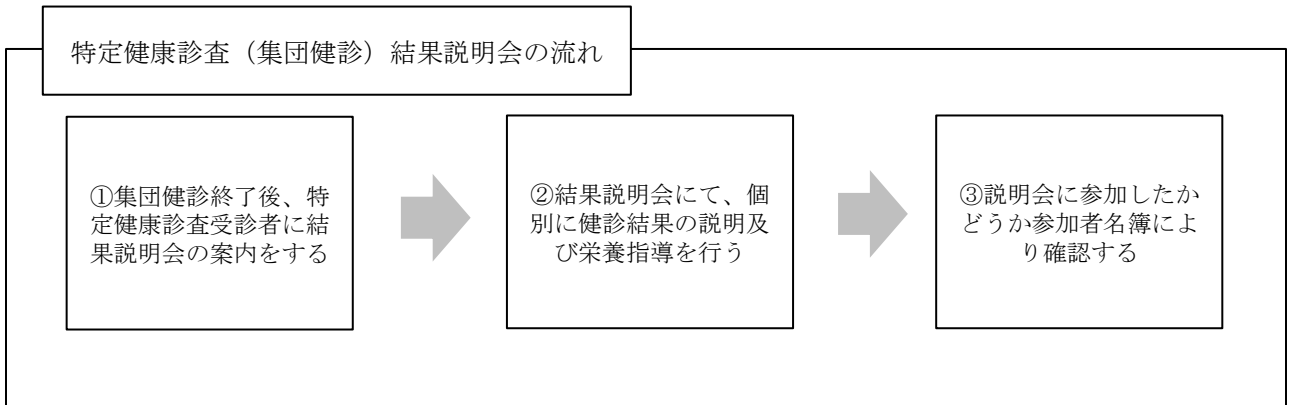
### 【事業目的】

生活習慣の改善

### 【事業概要】

特定健康診査の結果を個別面談にて説明し、栄養士による食事相談を合わせて実施する。

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者への通知率100%	参加率80%	対象者名簿より確認

### 【実施スケジュール】 平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

年間スケジュール														
平成30年												平成31年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
← 集団健診の約1か月後、結果説明会実施 →														





## (11) 生活習慣病予防教室（栄養教室）

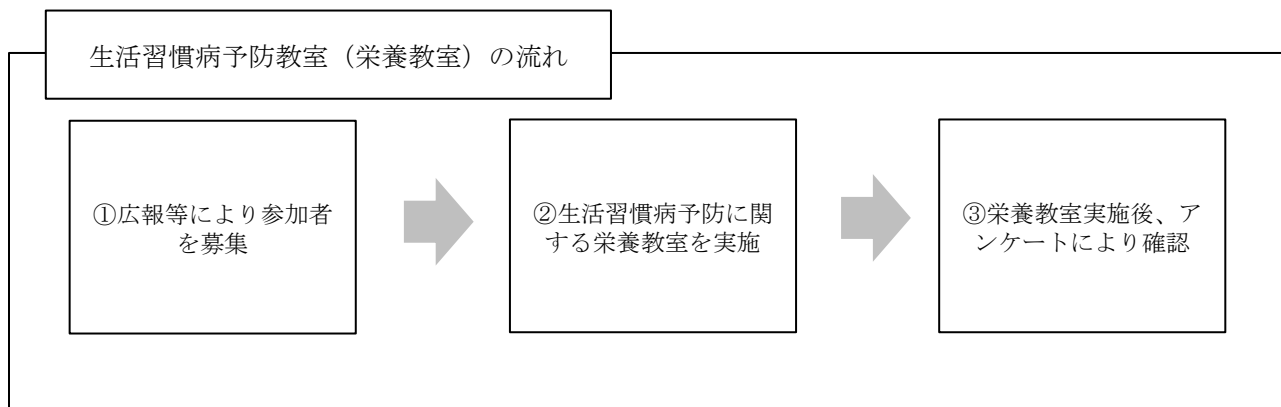
### 【事業目的】

生活習慣の改善

### 【事業概要】

管理栄養士による栄養教室を行い、健康的な食生活習慣を身につけ、健康の保持・増進ならびに生活習慣病の予防や重症化予防を図る。

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
広報等により参加者を募集する	意識付けの向上を図る	アンケートにより確認

【実施スケジュール】平成31年度以降も下記スケジュールを基本とする。

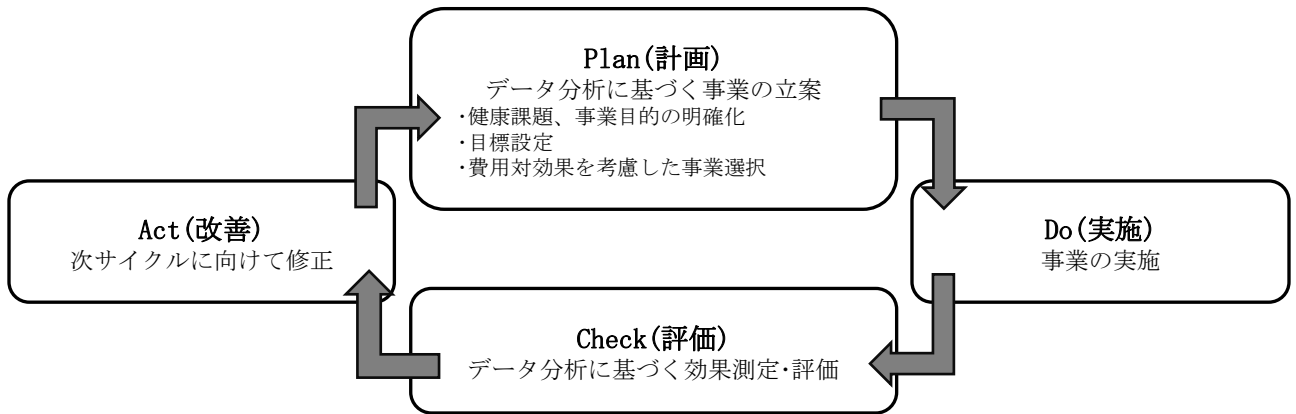
年間スケジュール														
平成30年												平成31年		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			← 募集及び準備 →						← 栄養教室の実施 →					

## 第4章 その他

### 1. データヘルス計画の見直し

#### (1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。



#### (2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

### 2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表する。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

### 3. 事業運営上の留意事項

保健事業の推進に当たっては、保健衛生部門との連携が重要になる。地域全体の健康課題を底上げするためのポピュレーションアプローチの実施等は保健衛生部門との連携により事業を実施する。また、生活習慣病の合併症は、要介護状態の原因疾患になることも多いため、65歳以上の前期高齢者に関する事業は、介護部門と連携する。

### 4. 個人情報の保護

個人情報の取扱いについては、「個人情報保護関係法令」及び「下市町個人情報保護条例」、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」等に基づき適切に管理する。

## 1. 用語解説集

	用語	説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実施し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさったり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。



## 2. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及び他の他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
<b>IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患</b>				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
<b>V. 精神及び行動の障害</b>				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の痲痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	グループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎□(アルコール性のものを除く)	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変□(アルコール性のものを除く)	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 嚢形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		